

2025 年度

一般社団法人全日本学生バドミントン連盟

第一回社員総会

日時：2026 年 2 月 15 日（日）

時間：10：00～

場所：Web 会議（zoom）

出席者 理 事 会；代表理事会長（議長）・常務理事副会長・常務理事
監 事；会計監事・業務監事
社 員；設立時社員・地区学連会長・地区学連委員長
学 生 役 員；全日本学連委員長・全日本学連副委員長
会 計；全日本学連会計担当者
オブザーバー；来年度全日本学連 3 役委員

議 事 録；総務部

署 名 人；会長・出席常務理事

その他の審議事項及びその他については議案書目次に掲載

全日本学生バドミントン連盟

○ 社員総会次第

2026 年 2 月 15 日（日）10：00～

司会：委員長 白井紫音

- ・ 出席者確認
- ・ 定数及び議決数確認
- ・ 開始にあたり 代表理事 北見正伸

4 ページの議題目次参照

	役職	出席者	出席状況	備考
理事会	代表理事会長(議長)	北見 正伸	出席	
	常務理事副会長	平野 泰宏	出席	
	常務理事	井上 翼	出席	
	常務理事	有吉 晃平	出席	
	常務理事	大束 忠司	出席	
	常務理事	古財 和輝	出席	
	常務理事	渡辺 英次	出席	
監事	会計監事	町並 美保	出席	
	業務監事	喜多 努	出席	
各地区 会長 (社員)	北海道学連会長	谷 博文	出席	
	東北学連会長	千葉 陽子	出席	
	関東学連会長	平野 泰宏		
	関西学連会長	竹廣 良司	委任状の提出	有吉 晃平氏に委任
	中部学連会長	佐藤 荘二	出席	
	中四国学連会長	北脇 康治	出席	
	九州学連会長	井上 翼		
各地区 委員長 (社員)	北海道学連委員長	三好 海智	出席	
	東北学連委員長	小野寺 陸	出席	
	関東学連委員長	清水 美海	出席	
	関西学連委員長	竹森 美優	委任状の提出	富野 航暉氏に委任
	中部学連委員長	吉田 翔一	出席	
	中四国学連委員長	西崎 太輝	出席	
	九州学連委員長	野中 結貴	出席	
全日本 学連	全日本学連委員長	白井 紫音	出席	
	全日本学連副委員長	大口 尚真	出席	
	全日本学連副委員長	富野 航暉	出席	
	全日本学連会計	林 忠男	出席	
	全日本学連会計	壁谷 桜子		
オブ		有田 媛香	出席	
		富田 妃奈乃	出席	

議 題：

「決議事項」

- ①理事及び監事の選任又は解任（第13条第1項）
→任期中により該当者無
- ②第13条第2項～第7項
→該当決議事項無

「承認事項」

- ①社員交代：各地区学連会長・各地区学連委員長

「報告事項」

- ①2025年度理事会決議事項及び2025年度全日本学連業務執行報告
&決算報告並びに2026年度全日本学連業務執行計画&予算
- ②2025年度全日本学連監査報告（会計監事・業務監事）
- ③2025年度各地区学連事業報告&決算報告
- ④2026年度各地区学連事業計画&予算

「その他」

- ①来年度全日本学連3役について

「報告事項」①及び②：2025年度理事会決議事項及び報告事項

(1) 2025年度全日本学連業務執行報告及び2026年度業務執行計画

(第32条第2項・第3項)

会 長：1) 一般社団法人化に伴う組織改革

- ①定款・細則制定→理事会・社員総会・運営本部・学生委員会・地区委員会
- ②設立時選任：役員・理事会（常務理事）・業務分担（業務執行理事）・監事・社員・会計・学生役員

③会計監査業務（会計決算処理・税務処理）を外部委託

2) (一社) 大学スポーツ協会（ユニバス）加盟

3) 全日本学連・日本バドミントン協会・大学スポーツ協会（ユニバス）の三者間の連携協力体制の確立を推進

① (公財) 日本バドミントン協会との協議によりナショナルチームに

→U24 カテゴリーが新設（選手強化）→大学生の選考方法を確立する

② ルール変更（15点3ゲーム）への対応

→2026年4月のBWF理事会にて決定予定

→導入時期&該当大会を選定する

③ 2026年度（公財）日本バドミントン協会インターンシップ継続実施

→大学スポーツ協会ユニバスアワードと連携

④ 協賛企業（スポンサー）の獲得拡大を協働→継続実施

4) (一社) 大学スポーツ協会との連携協力推進

① ユニバスアワードに立命館大学「大学生による持続可能なジュニア選手指導体制の構築」を推薦

→デュアルキャリア形成支援優秀取組賞入賞

② (一社) 全日本学生バドミントン連盟

→大学スポーツ組織運営優秀取組賞入賞

5) 会員数の拡大→同一法人の短期大学と四年制大学の合同チーム編成

6) 協賛企業の獲得拡大に向けて情報共有の強化と広報手段の拡大

7) 大会参加資格認定システムを導入

8) 大会運営の改革→大会様式の改革&組み合わせ基準改定

9) 選手強化合宿の実施→トップ選手強化&育成選手強化→拡大継続実施

総務部：1) 大会参加資格認定システムの地区学連導入について

→チェック時期及び連盟登録（審判資格）の手続き完了時期の方向性を決定

2) ユニバス安全安心認証（UNIVAS SSC）制度加入について

→2026.1.13.正式加盟を決定

- 競技部：1) 2025FISU ワールドユニバーシティゲームズ&合宿
2) 2025 全日本総合&直前合宿
3) 2025“YONEX 杯”国際バドミントン精英招待大会について
4) 第 39 回日韓バドミントン競技大会について
5) 全日本大学対抗戦組み合わせ基準変更
6) 全日本選手権大会組み合わせ基準変更（スーパーシード導入）
7) 2026 年度業務執行計画
- ① 全日本インカレ大学対抗戦組合せ基準変更について決定
 - ② 学生の 2 級審判資格取得方針について決定
 - ③ 東西インカレ参加時点での 3 級審判資格取得について実施に向けて方向性を決定
 - ④ 4 大大会開催期間と担当主管学連について実施に向けて
 - ⑤ 4 大大会エントリー締め切りから組合せ会議までの流れを決定
 - ⑥ 今後の全日本学生大学対抗戦について（団体戦の運営、進行について）実施に向けて方向性を決定
 - ⑦ 2026 アジア大学選手権大会について決定
 - ⑧ 国際大会に派遣する選手のメンバー選考について決定

- 広報部：1) 協賛企業の獲得状況&獲得スポンサー料
2) 2026 年度協賛企業獲得計画及び広報計画

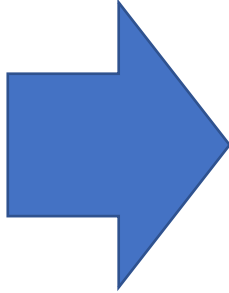
- (2) 第 32 条第 5 項は該当事項無
(3) 2025 年度全日本学連事業報告&決算報告
並びに 2026 年度全日本学連事業計画&予算
(4) 監査報告：会計監査報告（町並監事）&業務監査報告（喜多監事）（第 26 条）

2025年度

2026年度

7 地区連盟社員（会長）

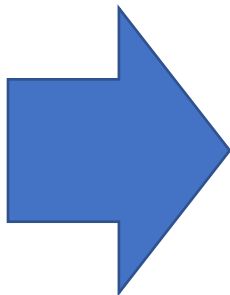
北海道	谷 博文
東北	千葉 陽子
関東	平野 泰宏
関西	竹廣 良司
中部	佐藤 荘二
中四国	北脇 康治
九州	井上 翼



谷 博文
千葉 陽子
坪井 雅史
竹廣 良司
佐藤 荘二
北脇 康治
井上 翼

7 地区連盟社員（委員長）

北海道	三好 海智
東北	小野寺 陸
関東	清水 美海
関西	竹森 美優
中部	吉田 翔一
中四国	西崎 太輝
九州	野中 結貴



まつおか ほうか③ 松岡 陽翔③
ひらが しょうた③ 平賀 翔太③
もとかわ ふみこ④ 本川 文子④
いけぶち ももえ③ 池淵 百恵③
吉田 翔一④
いくた よしの③ 生田 佳志乃③
はたえ江 よしと④ 波多江 美斗④

2025年度：第4回理事会議事録

日 時：2026.1.26.（月）19：00～22：20

場 所：Web 会議

出席者：北見正伸代表理事・会長、平野泰宏常務理事・副会長、大東忠司常務理事・競技部長、
渡辺英次常務理事・広報部長、有吉晃平常務理事・広報業務執行理事、
古財和輝常務理事・競技業務執行理事
町並美保監事、喜多努監事
(事務局)

白井紫音全日本学連委員長、林忠男会計担当者、壁谷桜子会計担当者

欠席者：井上翼常務理事・総務部長

委任状：1通（井上翼常務理事・総務部長）

議事録：総務部

署名人：北見正伸代表理事・会長、町並美保監事、喜多努監事

定足数：7名／7名（内1名委任）・監事2名

【議題】

『審議事項』

- (1) 2025年度第1回（一社）全日本学生バドミントン連盟社員総会について
(第32条第1項)

日 時：2026年2月15日（日）10:00～

場 所：Web 会議

出席者：理事会；会長（議長）・副会長・常務理事・監事
社 員；設立時社員・地区学連会長・地区学連委員長
学生役員；全日本学連委員長・全日本学連副委員長
会 計；全日本学連会計担当者

議事録：総務部

署名人：会長・出席常務理事

議 題：「決議事項」

- ①理事及び監事の選任又は解任（第13条第1項）
→任期中により該当せず
- ②第13条第2項～第7項
→該当決議事項無

「承認事項」

- ①社員交代：各地区学連会長・委員長
→総会時各地区から報告・承認する。

「報告事項」

- ①2025 年度理事会決議事項及び 2025 年度全日本学連業務執行報告
& 決算報告並びに 2026 年度全日本学連業務執行計画 & 予算
- ②2025 年度全日本学連監査報告（会計監事・業務監事）
- ③2025 年度各地区学連事業報告 & 決算報告
- ④2026 年度各地区学連事業計画 & 予算

以上、可決された。

(2) 2025 年度全日本学連業務執行報告及び 2026 年度業務執行計画

(第 32 条第 4 項)

会 長：1) 一般社団法人化に伴う組織改革

- ①定款・細則制定→理事会・社員総会・運営本部・学生委員会・地区委員会
- ②設立時選任：役員・理事会（常務理事）・業務分担（業務執行理事）・監事・社員・会計・学生役員

③会計監査業務（会計決算処理・税務処理）を外部委託

2) (一社) 大学スポーツ協会（ユニバス）加盟

3) 全日本学連・日本バドミントン協会・大学スポーツ協会（ユニバス）の
三者間の連携協力体制の確立を推進

① (公財) 日本バドミントン協会との協議によりナショナルチームに
→U24 カテゴリーが新設（選手強化）→大学生の選考方法を確立する

② ルール変更（15 点 3 ゲーム）への対応
→導入時期 & 該当大会を選定する
→2026 年 4 月の BWF 理事会にて決定予定

③ 2026 年度（公財）日本バドミントン協会インターンシップ継続実施
→大学スポーツ協会ユニバスアワードと連携
→学連 HP で学連活動を広報・周知する

④ 登録費の値上げ→2027 年度を目途・カテゴリー毎に値上幅設定提案

4) (一社) 大学スポーツ協会との連携協力

① ユニバスアワードに立命館大学「大学生による持続可能なジュニア選手指導体制の構築」を推薦

→デュアルキャリア形成支援優秀取組賞入賞

② (一社) 全日本学生バドミントン連盟

→大学スポーツ組織運営優秀取組賞入賞

③ 協賛企業の獲得拡大に向けて情報共有の強化と広報手段の拡大

5) 会員数の拡大→同一法人の短期大学と四年制大学の合同チーム編成

- 6) 大会参加資格認定システムの導入
- 7) 大会運営の改革→大会様式の改革&組み合わせ基準改定
- 8) 選手強化合宿の継続実施（トップ選手；U-24・育成選手）

※下線部分は 2026 年度業務執行計画（下記の審議議題）

- 総務部：1) 大会参加資格認定システム導入の進捗状況（審議事項 15）
2) ユニバス安全安心認証（UNIVAS SSC）制度加入の進捗状況
（審議事項 16）
3) UNIVAS AWARDS2025-26 13. 大学スポーツ組織運営優秀取組賞応募
→井上理事欠席に伴い、次回理事会にて報告・審議する。
- 競技部：1) 2025 FISU ワールドユニバーシティゲームズ&合宿
2) 2025 全日本総合&直前合宿
3) 2025“YONEX 杯”国際バドミントン精英招待大会について
4) 第 39 回日韓バドミントン競技大会について
→日韓大会の結果を全日本学連 HP に掲載する。
5) 全日本大学対抗戦組み合わせ基準変更
6) 全日本選手権大会組み合わせ基準変更（スーパーシード導入）
7) 2026 年度業務執行計画
→審議事項（7）～（14）
- 広報部：1) 協賛企業の獲得状況&スポンサー料
2) 2026 年度協賛企業獲得計画及び広報計画

以上、業務執行報告について承認された。

(3) 第 32 条第 5 項は該当事項無

(4) 2025 年度全日本学連業務執行報告及び決算（白井委員長・会計：林・壁谷）
以上、業務執行報告及び決算について承認された。

(5) 2026 年度全日本学連業務執行計画及び予算（白井委員長・会計：林・壁谷）
→事業計画について
全日本学連大学対抗戦(関西学連主管)の第二案の体育館確保状況を確認する。
協会へ確認：有吉理事・古財理事、関西学連へ確認：白井委員長が行う。
上記を留意の上、承認された。

(6) 監査報告：会計監査報告&業務監査報告（第 26 条）
監査報告書の通り、会計及び業務は適正に執行されている。

※以下（7）～（17）：（第32条第2項・第3項）

（7）全日本インカレ大学対抗戦組合せ基準変更について

【提案内容】

→詳細はP10～17に記載

→大学対抗戦組み合わせ基準の変更案の報告。

地区のランキングを優先する。そのことにより、その地区の2部の大学が、シード上位になることがないように配慮する。

上記の内容で可決された。

（8）学生（選手に限定しない）の2級審判資格取得について

（公財）日本バドミントン協会に詳細を大東理事が確認した上で実施する方向で可決された。

（9）選手（学生）の3級審判資格取得について

3級審判資格はインカレ出場要件であり、学生（選手）の審判レベル向上の為には必要であるが、一方では資格取得を強制することで登録者数の減少が懸念される。

2026年度東西インカレ申し込み時点で3級審判資格の取得率を調査確認し、その調査結果により強制可能 or 任意を判断し、可能であれば2027年度から実施する方向で可決された。

詳細はP8に記載

（10）4大大会開催期間と担当主管学連について

【提案内容】

☆大会開催について

- ・東西インカレ 8月第4週土曜日スタート（準備日含め10日間）
開始：8月21日～27日 終了：8月29日～9月4日
- ・全日本インカレ 10月3週日曜日スタート（準備日含め7日間）
- ・全日本大学対抗戦 11月2週日曜日スタート（準備日含め4日間）

☆開催地

- ・東日本インカレ 北海道学連・東北学連
- ・西日本インカレ 九州学連・中四国学連
- ・全日本インカレ 関西学連・中部学連
- ・全日本大学対抗戦 関東学連

※2027年からスタート

2026年 東日本：北海道 西日本：中四国 個人：中部 大学対抗戦：関西

2027年 東日本：東北 西日本：九州 個人：関西 大学対抗戦：関東
2028年 東日本：北海道 西日本：中四国 個人：中部 大学対抗戦：関東
この方向性で方針が可決された。ただし、今後の対応として、2025年度第1回社員総会時に各地区学連からの意見聴取及び運営本部会議の意見聴取を実施して、それらの意見を踏まえて2026年度で調整を含めて理事会で最終決定をする。

(11) 4大大会エントリー締め切りから組合せ会議までの流れについて
資料に記載された詳細に沿って実施することで可決された。

(12) 今後の全日本学生大学対抗戦について（団体戦の運営、進行について）

【提案内容】

→詳細はP18～19に記載

連盟認知度及び登録者数の拡大策として、この方向性で実施を検討する事が可決された。審議事項（10）の結果を踏まえながら、2026年度から実行できるものから順次実施していくが、他案として開催地地元中学生ジュニアチームを観戦招待して、入賞チーム選手との試合等の各種プロモーション等、更に検討を重ねる必要がある。

(13) 2026 アジア大学選手権大会について

6月10日～14日(移動含めると8日～15日)に台北が会場。

各種目インカレ優勝者(準優勝者も視野に入れておく)を対象とし12名(男女各6名)以上の内容で可決された。

(14) 国際大会に派遣する選手のメンバーについて

派遣選手は大学生のみとし、卒業生は該当しないものとする事で可決された。

(15) 大会参加資格認定システムについて：チェック時期及び連盟登録（審判資格）の手続き完了時期

→東西インカレ組み合わせ会議日までに日バ&全日・地区連盟登録完了する

→インカレ参加申し込み時点での「登録申請中」は認めない

→地区学連での運用導入については2027年度を目途に3級審判資格取得を含めて東西インカレ参加申し込み時点とする

審議事項（9）の結果を踏まえながら、資料に詳細記載の内容で可決された。

(16) ユニバス安全安心認証（UNIVAS SSC）制度への加入について

→2026.2.1.正式認証

インカレの際に有吉理事から通達するものとする事が承認された。

(17) 育成選手養成としての全日本大学対抗戦時の敗者交流戦について

→2026 年度継続実施

井上理事欠席に伴い、次回理事会にて報告・審議する。

(18) その他

1) 全日本学連預金口座の作成・統合について

① (一社)全日本学生バドミントン連盟名義の銀行口座(みずほ銀行)を新規作成したことから、現有する旧口座(2口)の残預金を統合して新口座に移動することが可決された。

② 現有するゆうちょ銀行口座の名義を(一社)全日本学生バドミントン連盟に変更する事が可決された。

2) 育成選手の合宿

7 地区学連会長推薦選手(各地区数名程度)

実業団チームと男女別に合宿(2泊3日予定)

集合離散費:選手負担

宿泊費:各地区学連負担

会場費・コーチ謝金・シャトル代:全日本学連負担

以上の内容で実施方針が可決された。2025 年度第 1 回社員総会で各地区学連の意見を聴取する。

3) (一社)全日本学生バドミントン連盟学生役員の選任

白井委員長から資料に基づいて 2026 年度学生役員候補者の推薦があり、審議の結果資料通りに可決された。

議事録署名人

(一社)全日本学生バドミントン連盟

代表理事・会長

監事(会計監査)

監事(業務監査)

2025（令和7）年度 全日本学生バドミントン連盟事業報告

事業名	開催日	場所
第68回東日本・第65回西日本学生 バドミントン選手権大会 組み合わせ会議	8月2日(土)	Web会議
第65回西日本学生 バドミントン選手権大会 (主管：九州学生バドミントン連盟)	9月1日(月)～9月9日(火)	福岡県 北九州市立総合体育館 若松体育館 麻生スポーツセンター
第68回東日本学生 バドミントン選手権大会 (主管：東北学生バドミントン連盟)	8月23日(土)～8月31日(日)	栃木県宇都宮市 日環アリーナ
第76回全日本学生 バドミントン選手権大会 全日本学生バドミントン大学対抗戦 組み合わせ会議	9月20日(土)	Web会議
第76回全日本学生 バドミントン選手権大会 (主管：関東学生バドミントン連盟)	10月10日(金)～16日(木)	群馬県前橋市 ヤマト市民体育館前橋
第76回全日本学生 バドミントン大学対抗戦 (主管：中部学生バドミントン連盟)	11月6日(木)～9日(日)	石川県金沢市 いしかわ総合スポーツセンター
第1回全日本学生連盟社員総会	2026年2月15日(日)	Web会議

令和7年度 決算報告書

自 令和 7年 3月27日
至 令和 7年12月31日

神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221番地1
一般社団法人全日本学生バドミントン連盟

[目 次]

1 貸 借 対 照 表

2 正 味 財 産 増 減 計 算 書

貸借対照表

令和7年12月31日現在

一般社団法人全日本学生バドミントン連盟

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	30,809,197		
流動資産合計	30,809,197		
資産合計	30,809,197		
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	138,640		
流動負債合計	138,640		
負債合計	138,640		
III 正味財産の部			
1. 一般正味財産	30,670,557		
正味財産合計	30,670,557		
負債及び正味財産合計	30,809,197		

(注) 設立初年度のため前年度欄及び増減欄に記載すべき金額はない。

正味財産増減計算書

令和7年3月27日から令和7年12月31日まで

一般社団法人全日本学生バドミントン連盟

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取加盟金収益	(2,505,000)		
② 受取登録費収益	(12,728,000)		
③ 事業収益	(2,664,450)		
協賛金収益	1,979,450		
受取大会参加費収益	165,000		
受取合宿参加費収益	520,000		
④ 受取補助金等	(4,000,000)		
受取普及費補助金	2,000,000		
受取大会交付金	2,000,000		
⑤ 雑収益	(42,416)		
雑収益	7,015		
受取利息	35,401		
経常収益計	21,939,866		
(2) 経常費用			
① 事業費	(17,910,464)		
東日本学生選手権大会交付金	2,500,000		
西日本学生選手権大会交付金	2,500,000		
全日本学生選手権大会交付金	3,280,000		
全日本大学対抗戦交付金	1,340,000		
選手強化・派遣費	2,906,493		
会議費	60,000		
旅費交通費	3,831,151		
通信費	292,420		
消耗品費	907,210		
業務委託費	66,000		
支払手数料	27,190		
諸会費	150,000		
加盟金	50,000		
② 管理費	(1,272,327)		
会議費	460,276		
旅費交通費	96,793		
通信費	920		
消耗品費	17,860		
支払手数料	8,700		
諸会費	10,000		
HP運営管理費	361,900		
支払報酬	315,878		
経常費用計	19,182,791		
当期経常増減額	2,757,075		
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
受取寄附金	27,913,482		
経常外収益計	27,913,482		
当期経常外増減額	27,913,482		
税引前当期一般正味財産増減額	30,670,557		
法人税、住民税及び事業税	0		
当期一般正味財産増減額	30,670,557		
一般正味財産期首残高	0		
一般正味財産期末残高	30,670,557		
II 正味財産期末残高	30,670,557		

(注) 設立初年度のため前年度欄及び増減欄に記載すべき金額はない。

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
受取普及費補助金	公益財団法人 日本バドミントン協会	0	2,000,000	2,000,000	0	—
受取大会交付金		0	2,000,000	2,000,000	0	—
合 計		0	4,000,000	4,000,000	0	

2026（令和8）年度 全日本学生バドミントン連盟事業計画

事業名	開催日	場所
第69回東日本・第66回西日本学生 バドミントン選手権大会 組み合わせ会議	8月8日(土)、 9日(日)(予備日)	Web会議
第66回西日本学生 バドミントン選手権大会 (主管：中四国学生バドミントン連盟)	8月31日(月)～9月9日(水)	鳥取県鳥取市 鳥取県民体育館 鳥取県産業体育館 鳥取市民体育館
第69回東日本学生 バドミントン選手権大会 (主管：北海道学生バドミントン連盟)	8月26日(水)～9月4日(金)	北海道札幌市 北海道立総合体育センター (北海きたえーる)
第77回全日本学生 バドミントン選手権大会 全日本学生バドミントン大学対抗戦 組み合わせ会議	10月3日(土)、 4日(日)(予備日)	Web会議
第77回全日本学生 バドミントン選手権大会 (主管：中部学生バドミントン連盟)	10月16日(金)～22日(木)	石川県金沢市 いしかわ総合スポーツセンター
第77回全日本学生 バドミントン大学対抗戦 (主管：関西学生バドミントン連盟)	11月5日(木)～8日(日)	兵庫県姫路市 ひめじスーパーアリーナ (予定)
第2回全日本学生連盟社員総会	未定	Web会議

正味財産増減予算書

令和8年1月1日から令和8年12月31日まで

一般社団法人全日本学生バドミントン連盟

科 目	前年度	令和7年度	令和8年度予算	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 受取加盟金収益	()	(2,505,000)	(2,500,000)	5,000円x500校
② 受取登録費収益	()	(12,728,000)	(12,700,000)	2,000円x6,350名
③ 事業収益	()	(2,664,450)	(3,500,000)	
協賛金収益		1,979,450	3,000,000	
受取大会参加費収益		165,000	0	
受取合宿参加費収益		520,000	500,000	
④ 受取補助金等	()	(4,000,000)	(3,000,000)	
受取普及費補助金		2,000,000	1,000,000	
受取大会交付金		2,000,000	2,000,000	
⑤ 雑収益	()	(42,416)	(40,000)	
雑収益		7,015	0	
受取利息		35,401	40,000	
経常収益計		21,939,866	21,740,000	
(2) 経常費用				
① 事業費	()	(17,910,464)	(18,570,000)	
東日本学生選手権大会交付金		2,500,000	2,500,000	
西日本学生選手権大会交付金		2,500,000	2,500,000	
全日本学生選手権大会交付金		3,280,000	3,280,000	
全日本大学対抗戦交付金		1,340,000	1,340,000	
選手強化・派遣費		2,906,493	3,000,000	
会議費		60,000	500,000	
旅費交通費		3,831,151	4,000,000	
通信費		292,420	300,000	
消耗品費		907,210	1,000,000	
業務委託費		66,000	70,000	
支払手数料		27,190	30,000	
諸会費		150,000		?
加盟金		50,000	50,000	日バ
② 管理費	()	(1,272,327)	(700,000)	
会議費		460,276	0	事業費に統一
旅費交通費		96,793	0	事業費に統一
通信費		920	0	事業費に統一
消耗品費		17,860	0	事業費に統一
支払手数料		8,700	0	事業費に統一
諸会費		10,000	0	事業費に統一
HP運営管理費		361,900	400,000	
支払報酬		315,878	300,000	
経常費用計		19,182,791	19,270,000	
当期経常増減額		2,757,075	2,470,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
受取寄附金		27,913,482	0	令和7年度は6年度繰越金
経常外収益計		27,913,482	0	
当期経常外増減額		27,913,482	0	
税引前当期一般正味財産増減額		30,670,557	2,470,000	
法人税、住民税及び事業税		0	0	
当期一般正味財産増減額		30,670,557	2,470,000	
一般正味財産期首残高		0	30,670,557	
一般正味財産期末残高		30,670,557	33,140,557	
II 正味財産期末残高		30,670,557	33,140,557	

(注) 設立初年度のため前年度欄及び増減欄に記載すべき金額はない。

令和8年1月19日

一般社団法人全日本学生バドミントン連盟
会長 北見 正伸 殿

一般社団法人全日本学生バドミントン連盟

監事 田並 美保 

監査報告書

私は、令和7年3月27日から令和7年12月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

私は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。

理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

令和8年1月19日

一般社団法人 全日本学生バドミントン連盟

会長 北見 正伸 殿

監事

喜多 努



事業監査報告書

私は、令和7年3月27日から令和7年12月31日までの事業年度における理事の職務の執行に関し、事業監査を行いました。その方法及び結果について、以下の通り報告いたします。

1. 監査の方法の概要

私たちは、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査環境の整備に努めるとともに、理事会その他の重要な会議に出席し、理事の職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求めました。また、重要な決裁書類等を閲覧し、業務の状況を調査いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果

- 事業報告及びその附属明細書は、法令及び定款に従い、連盟の状況を正しく示しているものと認めます。
- 理事の職務の執行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 各大会・行事の執行状況

- 全日本学生バドミントン選手権大会をはじめとする各主催大会において、競技規定に基づき適正に運営されていることを確認いたしました。
- 学生アスリートの安全確保およびコンプライアンス遵守の体制が適切に整備されていることを確認いたしました。

3. 特記事項

- 組み合わせ規定の決定プロセスの条件設定について、引き続き注視されたい。

以上

令和7年度 北海道学生バドミントン連盟
事業報告及び決算報告書

(自 令和7年1月1日 ~ 至 令和7年12月31日)

項 目	収 入	支 出	収 支 差 額
前年度繰越金	11,428,456		
登録費			備考: 団体数・加盟人数
北海道学連団体加盟費	800,000		¥25,000 × 32校
北海道学連個人登録費	1,267,500		¥2,500 × 507名
全日本学連加盟費	160,000	160,000	¥5,000 × 32校
全日本学連登録費	1,014,000	1,014,000	¥2,000 × 507名
小計	3,241,500	1,174,000	2,067,500
事業名			
大会名 春季リーグ戦大会	950,000	965,479	-15,479
期間 4月24日～4月27日	特記事項		※道協会補助金 14万円
会場 江別市民体育館	1校¥30,000(MT16.WT11)		
大会名 北海道学生選手権大会	1,787,500	1,339,942	447,558
期間 5月31日～6月3日	特記事項		※道協会補助金 14万円
会場 小樽市総合体育館	単¥2,500・複¥5,000(MS167,MD113,WS32,WD46,XDA8,XDB63)		
大会名 秋季リーグ戦大会	930,000	946,588	-16,588
期間 9月25日～9月28日	特記事項		
会場 北ガスアリーナ札幌46	1校¥30,000(MT19.WT12)		
大会名 会長杯争奪選手権大会	1,790,000	1,266,613	523,387
期間 10月31日～11月3日	特記事項		
会場 深川市総合体育館	単¥2,500・複¥5,000(MS167,MD108,WS41,WD49,XD93)		
大会名 新人戦大会	1,120,000	1,193,388	-73,388
期間 12月9日～12月12日	特記事項		
会場 北ガスアリーナ札幌46	団1組 ¥12,000(MT26.WT9) 単¥2,500・複¥5,000(MS91,MD55,WS29,WD25)		
小計	6,577,500	5,712,010	865,490
北海道協会 負担金		100,000	-100,000
広告費	250,000	30,000	220,000
雑収入	24,950		24,950
全日本インカレ参加費	168,000	168,000	0
全日本大学対抗戦参加費	161,000	161,000	0
東日本インカレ参加費	793,140	793,140	0
役員活動費		3,543,792	
会議費		354,534	
派遣費		1,346,636	
通信運搬費(通信運搬費・電話代)		33,408	
印刷製本費		0	
諸費(諸費・消耗品・食糧費・手数料)		1,809,214	
積立金		0	
学連予備費(現金保有分)		0	
収入総計	22,644,546		
支出総計		11,681,942	
残 高			10,962,604
次年度繰越金			10,962,604

2025年度 東北学生バドミントン連盟
事業報告及び決算報告書

項 目	収 入	支 出	収 支 差 額
前年度繰越金	7,504,966	/	
登録費			備考:団体数・加盟人数
東北学連団体加盟費	155,000	/	(@5,000×31校)
東北学連個人登録費	658,000	/	(@2,000×329名)
全日本学連加盟費	155,000	155,000	(@5,000×31校)
全日本学連登録費	658,000	658,000	(@2,000×329名)
全日本学連交付金(東日本インカレ)		/	
小計	1,626,000	813,000	813,000
事業名			
大会名 春季リーグ・選手権大会	1,478,140	2,063,653	-585,513
期間 2025年5.25(日)～5.31(土)	特記事項		
会場 仙台市宮城野体育館	※会場費 537,920 円 シャトル代 897,600 円		
大会名 東日本選手権大会	12,083,660	11,567,181	516,479
期間 2025年8.23(土)～8.31(日)	特記事項		
会場 日環アリーナ栃木			
大会名 秋季リーグ	893,700	835,710	57,990
期間 2025年11.16(日)～11.19(木)	特記事項		
会場 仙台市宮城野体育館	※会場費 266,460 円 シャトル代 0 円		
大会名 新人戦	1,167,020	1,063,134	103,886
期間 2025年12.7(日)～12.11(木)	特記事項		
会場 仙台市宮城野体育館	※会場費 274,000 円 シャトル代 277,200 円		
小計	15,622,520	15,529,678	92,842
雑収入	50,034	/	
全日本インカレ参加費	204,000	204,000	0
役員活動費	0	608,688	-608,688
会議費	/	20,000	
派遣費	/	277,800	
通信運搬費(通信運搬費・電話代)	/	66,635	
印刷製本費	/	0	
諸費(諸費・消耗品・食糧費・手数料)	/	244,253	
積立金	0	0	0
学連予備費(現金保有分)	14,702	/	
収入総計	25,007,520	/	
支出総計	/	17,155,366	
残 高	/	/	7,852,154
次年度繰越金	/	/	7,852,154

令和7年度 関東学生バドミントン連盟
事業報告及び決算報告書

(自 令和7年1月1日 ~ 至 令和7年12月31日)

(単位:円)

項 目	収 入	支 出	収 支 差 額
前年度繰越金	34,579,566		
登録費			備考：団体数・加盟人数
関東学連団体加盟費	1,610,000		男子:88、女子:73
関東学連個人登録費	3,550,000		1775人
全日本学連加盟費	805,000		男子:88、女子:73
全日本学連登録費	3,550,000		1775人
小計	9,515,000	0	9,515,000
事業名			
2025年度 関東大学バドミントン春季リーグ戦 4月19日～5月11日 関東各県	3,522,000	5,626,522	-2,104,522
			特記事項
2025年度 関東学生バドミントン選手権大会 6月18日～7月4日 所沢市民体育館・平塚総合体育館	6,818,000	4,657,230	2,160,770
			特記事項
2025年度 関東大学バドミントン秋季リーグ戦 8月18日～9月21日 関東各県	3,378,000	6,766,709	-3,388,709
			特記事項
2025年度 全日本学生バドミントン選手権大会 10月10日～16日 ヤマト市民体育館	6,977,500	5,044,698	1,932,802
			特記事項
2025年度 関東学生新人選手権大会 2月16日～27日 所沢市民体育館	4,788,000	3,768,731	1,019,269
			特記事項
小計	25,483,500	25,863,890	-380,390
広告費	485,000	0	485,000
雑収入	1,092,973		1,092,973
全日本大学対抗戦	446,000	705,032	-259,032
全日本ミックス	0	0	0
東日本インカレ	7,202,040	7,819,971	-617,931
役員活動費		4,569,461	
会議費		772,000	
派遣費		128,122	
通信運搬費 (通信運搬費・電話代)		424,105	
印刷製本費		0	
諸費 (諸費・消耗品・食糧費・手数料)		3,245,234	
積立金		0	
学連予備費 (現金保有分)		0	
収入総計	78,804,079		
支出総計		38,958,354	
残 高			39,845,725
次年度繰越金			39,845,725

令和7年度 関西学生バドミントン連盟
事業報告及び決算報告書 (令和7年1月1日～12月31日)

項目	収入	支出	収支差額
前年度一般会計繰越金	5,449,698		前年度繰越金△手持ち金 211,812円 除く
前年度特別会計繰越金	2,237,179		
登録費	備考：団体数・加盟人数(校@15,000×102校, @2,000×1,410人, @5,000×102校, @2,000×1,410人)		
関西学連団体加盟費	1,530,000		
関西学連個人登録費	2,820,000		
全日本学連加盟費	510,000	510,000	0
全日本学連登録費	2,820,000	2,820,000	0
小計	7,680,000	3,330,000	4,350,000
事業名			
大会名 関西学生春季リーグ戦	1,960,000	3,727,331	-1,767,331
期間 4/26～5/17	特記事項 85校		
会場 皇子が丘体育館他	1～3部@25,000円×48校 4～5部@20,000円×37校		
大会名 関西学生選手権大会	3,564,000	2,448,177	1,115,823
期間 5/10～6/11	特記事項 単728名、複454組		
会場 ダイハツアリーナ他	単@2,000×728人、複@4,000×454組		
大会名 関西学生秋季リーグ戦	2,040,000	2,862,085	-822,085
期間 9/16～9/23	特記事項 91校		
会場 和歌山ビッグウェーブ他	1～3部@25,000円×48校 4～5部@20,000円×43校		
大会名 関西学生新人戦大会	2,717,500	2,279,850	437,650
期間 10/25～11/29	特記事項 単562名、複266組		
会場 龍谷大学深草キャンパス他	単@2,500×562人、複@5,000×266組		
小計	10,281,500	11,317,443	-1,035,943
寄附金(協賛金)	150,000		
補助金(助成金)	50,000		
雑収入	123,866		
全日本インカレ参加費(個人)	883,000	883,000	0
全日本インカレ参加費(団体)	403,000	403,000	0
東・西日本インカレ参加費	4,945,000	4,945,000	0
役員活動費		2,953,174	
会議費		200,580	
派遣費		1,153,323	
通信運搬費(通信運搬費・電話代)		159,868	
印刷製本費		0	
諸費(諸費・消耗品・食糧費・手数料・事務所費)		1,439,403	
積立金		0	
学連予備費(現金保有分)	184,763	211,812	戻入 211,812円 △ 27,049円(秋Rゴミ処理費、他)
収入総計	32,388,006		
支出総計		24,043,429	
残高			8,344,577
特別会計繰越金	2,240,457	受取利息3,278円	2,240,457
次年度繰越金			8,347,855

(一般会計：6,107,398円、特別会計：2,240,457円)

令和7年度 中部学生バドミントン連盟事業決算書書

項 目	収 入	支 出	収 支 差 額
前年度繰越金	20,829,985		
登録費			備考：団体数・加盟人数
中部学連団体加盟費	621,000		9000×69チーム
中部学連個人登録費	2,412,000		2000×1206名
全日本学連加盟費	345,000	345,000	5000×69チーム
全日本学連登録費	2,412,000	2,412,000	2000×1206名
小計	5,790,000	2,757,000	3,033,000
事業名			
第86回北信越大学バドミントン選手権大会 期間 R7.4.2-4.4 場所 金沢市総合体育館	481,887	735,675	-253,788
特記事項			
第141回東海大学/第73回東海学生バドミントン選手権大会 期間 R7.4.1-26 会場 メディアス体育館おおぶ、南山大学	1,694,000	1,959,022	-265,022
特記事項			
第74回中部大学/第75回中部学生バドミントン選手権大会 期間 R.7.5.30-6.6 会場 岐阜メモリアルセンター	1,380,000	2,331,332	-951,332
特記事項			
第74回北信越学生バドミントン選手権大会 期間 R7.8.19-8.22 場所 秋葉区総合体育館	1,515,876	1,494,417	21,459
特記事項			
第142回東海大学/第47回東海学生新人バドミントン選手権大会 期間 R7.9.12-9.26 会場 愛知工業大学,一宮市総合体育館	2,590,000	2,232,082	357,918
特記事項			
第73回北信越学生バドミントン選手権大会 期間 R5.8.19-22 場所 小千谷市総合体育館	1,600,000	1,400,000	200,000
特記事項			
第76回全日本学生バドミントン大学対抗戦 期間 R11.6-11.9 場所 いしかわ総合スポーツセンター	4,195,350	3,089,278	1,106,072
特記事項			
第76回北信越大学バドミントン選手権大会 期間 R7.11.12-11.14 場所 氷見ふれあいスポーツセンター	568,000	540,500	27,500
特記事項			
第32回北信越新人学生バドミントン選手権大会 期間R7.12.8-12.11 場所 ユメックスアリーナ	1,044,500	1,003,668	40,832
特記事項			
小計	15,069,613	14,785,974	283,639
雑収入	1,000,000		1,000,000
会議費		22,448	
派遣費		140,000	
通信運搬費 (通信運搬費・電話代)		15,254	
印刷製本費		0	
諸費 (諸費・消耗品・食糧費・手数料)		353,518	
積立金		0	
学連予備費 (現金保有分)		216,797	
役員活動費		748,017	
収入総計	42,689,598		
支出総計		18,290,991	
残 高			24,398,607
次年度繰越金			24,398,607

修正日

令和8年1月22日
令和8年2月22日

中部学生バドミントン連盟 会計
会計責任者 三島葉右

令和7年度 中四国学生バドミントン連盟
事業報告及び決算報告書

(自 令和7年1月1日 ~ 至 令和7年12月31日)

(単位:円)

項目	収入	支出	収支差額
前年度繰越金	2,792,214		
登録費			備考:団体数・加盟人数
中四国学連団体加盟費	212,000		(<@4000×53)
中四国学連個人登録費	1,482,000		(<@3000×494)
全日本学連加盟費	265,000	265,000	(<@5000×53)
全日本学連登録費	988,000	988,000	(<@2000×494)
小計	2,947,000	1,253,000	1,694,000
事業名			
大会名 第45回中四国学生バドミントンリーグ戦 期間 2025年4月21日(月)~24日(木) 会場 高松市総合体育館	945,056	1,097,765	-152,709
		特記事項	
大会名 第69回中四国学生バドミントン選手権大 期間 2025年6月10日(火)~13日(金) 会場 岡山県岡山市 ジップアリーナ岡山	3,359,300	2,950,718	408,582
		特記事項	
		おかやま観光コンベンション協会 300,000円	
大会名 第50回中国学生バドミントン選手権大会 期間 2025年8月12日(火)~15日(金) 会場 下関総合体育館(J:COMアリーナ下関)	1,859,500	1,761,602	97,898
		特記事項	
		下関市スポーツ振興課 補助金 100,000円	
大会名 第64回中四国九州学生バドミントン選手 期間 2025年11月24日(月)~29日(土) 会場 エフピコアリーナ福山、福山通運ローズアリーナ	5,110,000	5,107,819	2,181
		特記事項	
大会名			0
期間		特記事項	
会場			
小計	11,273,856	10,917,904	355,952
広告費	53,000	26,400	26,600
雑収入	0		0
全日本インカレ参加費	120,000	120,000	0
全日本ミックス参加費	64,000	64,000	0
西日本インカレ	1,106,000	1,106,000	0
役員活動費		1,278,228	
会議費		20,000	
派遣費		1,143,447	
通信運搬費(通信運搬費・電話代)		0	
印刷製本費		0	
諸費(諸費・消耗品・食糧費・手数料)		43,628	
積立金		0	
学連予備費(現金保有分)		71,153	
収入総計	18,356,070		
支出総計		14,765,532	
残高			3,590,538
次年度繰越金			3,590,538

令和7年度 九州学生バドミントン連盟
事業報告及び決算報告書
(自 令和7年1月1日 ~ 至 令和7年12月31日)

(単位:円)

項 目	収 入	支 出	収 支 差 額
前年度繰越金	3,529,783		
登録費			備考: 団体数・加盟人数
九州学連団体加盟費	270,000		団体数: 54(1団体5,000円)
九州学連個人登録費	1,923,000		加盟人数: 641人(1人3,000円)
全日本学連加盟費	270,000	270,000	団体数: 54(1団体5,000円)
全日本学連登録費	1,282,000	1,282,000	加盟人数: 641人(1人2,000円)
小計	3,745,000	1,552,000	2,193,000
事業名			
大会名 第65回九州学生バドミントンリーグ戦大会 期間 2025/5/17 ~ 2025/5/19 会場 益城町総合体育館	1,867,000	2,101,217	-234,217
大会名 第75回九州学生バドミントン選手権大会 期間 2025/6/14 ~ 2025/6/19 会場 シーハット大村	3,648,000	3,731,108	140,268
大会名 第65回西日本学生バドミントン選手権大会 期間 2025/9/1 ~ 2025/9/9 会場 北九州市総合体育館、第一警備スポーツセンター戸畑、若松体育館	14,087,000	12,286,293	1,577,331
大会名 九州地区合同合宿 期間 2025/8/12.28 会場 若松体育館、アクシオン福岡	0	94,280	-94,280
大会名 期間 会場			0
小計	19,602,000	18,212,898	1,389,102
広告費	100,000	0	100,000
雑収入	28,589		28,589
全日本学生バドミントン選手権大会	0	479,952	-479,952
全日本学生バドミントン大学対抗戦	0	305,434	-305,434
中国四国九州学生バドミントン選手権大会	0	242,110	-242,110
役員活動費		1,065,033	
旅費交通費		398,596	
給与手当		514,000	
福利厚生費		52,340	
通信運搬費(通信運搬費・電話代)		600	
印刷製本費		0	
諸費(諸費・消耗品・手数料)		99,497	
積立金		0	
学連予備費(現金保有分)		0	
収入総計	27,005,372		
支出総計		21,857,427	
残 高			5,147,945
次年度繰越金			5,147,945

決 算 報 告 書

- 全日本学生バドミントン選手権大会
- 全日本学生バドミントン大学対抗戦
- 東日本学生バドミントン選手権大会
- 西日本学生バドミントン選手権大会

※ 該当する大会名の先頭に○印を付ける

収 入		
項 目	金 額	備 考
日本バドミントン協会補助金	1,000,000	
全日本学生バドミントン連盟交付金	2,280,000	
大会参加費	2,280,000	MS:96人、MD:96組、WS:96人、WD:94組、XD:94組
寄附金	0	
広告料	260,000	
雑収入(パンフレット収入等)	1,157,500	前橋コンベンション協会、群馬県バドミントン協会、運営費(760人)
収 入 総 計	6,977,500	

支 出		
項 目	金 額	備 考
会場費	611,660	群馬アリーナ
シャトル代	1,801,800	
大会参加記念品代(Tシャツ)	0	
役員活動費	1,693,791	
会議費	0	
派遣費	187,100	
通信運搬費	0	
印刷製本費	492,800	
諸費(表彰費等)	257,547	ゴミコンテナ、看板等
支 出 総 計	5,044,698	
残 高	1,932,802	

決 算 報 告 書

全日本学生バドミントン選手権大会
 全日本学生バドミントン大学対抗戦
 東日本学生バドミントン選手権大会
 西日本学生バドミントン選手権大会

○

※ 該当する大会名の先頭に○印を付ける

収 入		
項 目	金 額	備 考
日本バドミントン協会補助金	1,000,000	
全日本学生バドミントン連盟交付金	340,000	
大会参加費	1,280,000	¥20000×64校
寄附金	500,000	金沢市補助金
広告料	883,350	協賛金等
雑収入(大会運営費等)	192,000	¥3000×64校
収 入 総 計	4,195,350	

支 出		
項 目	金 額	備 考
会場費	463,310	いしかわ総合
シャトル代	884,000	130ダース
大会参加記念品代(Tシャツ)	0	全日負担
役員活動費	525,240	
会議費	33,300	組み合わせ会議
派遣費	310,000	
通信運搬費	0	
印刷製本費	181,940	130冊
諸費	691,488	別紙掲載
支 出 総 計	3,089,278	
翌年度繰越金	1,106,072	
残高	0	

上記の通り相違ありません。

2025/11/28
 修正日 2026/2/22

中部学生バドミントン連盟 会計
 会計責任者 三島 葉右

諸費内訳		
項 目	金 額	備 考
食料費	288,069	
消耗品代	8,592	
交通費	106,917	
宿泊費	287,480	
手数料	430	
支 出 総 計	691,488	

令和7年度 第68回東日本学生バドミントン選手権大会 決算書

【収入の部】

(単位:円)

2026.1.23.

項 目	金 額	摘 要
1全日本学連交付金	2,500,000	
2各地区学連援助金・寄付金	10,000	栃木県バドミントン協会
3参加料	7,210,660	男女団体:20,000×71校 個人単:3,000×785人 個人複:6,000×569組 保険料:20×1083人
4運営費	2,166,000	2,000×1083名
5広告料	180,000	J-ship株式会社・(株)でんろく・ウエンブレイ ラケットショップ広瀬・日本バドミントン学会・誠文堂印刷 (株)トラベルリンクス ヨネックス株式会社(シャトル協賛)
6パンフレット売上	17,000	
合計(A)	12,083,660	

【支出の部】

(単位:円)

項 目	金 額	摘 要
1体育館使用料	2,040,710	日環アリーナ栃木;アリーナ・会議室使用料 当初は有料の空調設備を使用する予定で予算に計上していたが、 体育館の全館空調により、追加の空調使用は不要となったため予算 書に記載した金額よりも大幅に低い支出となった。 公園内行為申請;物品販売;6,320円含む
2競技費	5,269,600	シャトル・ラインテープ・アサミソフト使用料
3印刷費	1,498,200	プログラム印刷・横断幕
4交通費 (大会当日・事前打ち合わせ)	75,825	高速代・燃料費・JR運賃
5備品費	438,006	看板製作費・レプリカ・プリンター・運搬用ワゴン・WiFi
6事務費	139,015	文房具・コピー・プリンターインク・印刷用紙・郵送料
7日当費 (大会当日・組み合わせ会議・ 事前打ち合わせ)	810,000	連盟役員(5名)・レフェリー(2名)・審判(24名)・補助要員(3名) ※組み合わせ会議・事前打ち合わせを含む
8宿泊費 (大会当日・事前打ち合わせ)	417,845	連盟役員宿泊費 ※事前打ち合わせを含む
9食費	531,539	弁当・飲食費
10会議費	275,281	役員打ち合わせ・役員意見交換会・事前打ち合わせ・事後御礼
11保険費	71,160	
小計(B)	11,567,181	
収支差額(C)=(A)-(B)	516,479	※次回大会の準備費に充当

決算報告書

全日本学生バドミントン選手権大会

全日本学生バドミントン大学対抗戦

東日本学生バドミントン選手権大会

○ 西日本学生バドミントン選手権大会

※ 該当する大会名の先頭に○印を付ける

収 入		
項 目	金 額	備 考
日本バドミントン協会補助金		
全日本学生バドミントン連盟交付金	¥2,500,000	
大会参加費	¥10,692,000	団体96校、個人単1014人、個人複593組、個人混124組、参加者1,428人
寄附金	¥500,000	北九州観光コンベンション
広告料	¥185,000	
雑収入(パンフレット収入等)	¥210,000	使用済みシャツ代
収 入 総 計	¥14,087,000	

支 出		
項 目	金 額	備 考
会場費	¥1,481,641	北九州市コンベンションにより、施設使用料免除(電気代、空調代のみ)
シャツ代	¥3,274,290	
大会参加記念品代(Tシャツ)	¥3,865,580	
役員活動費	¥3,387,489	
旅費交通費	¥1,862,176	交通費、宿泊費
給与手当	¥1,271,500	日当
福利厚生費	¥253,813	食費
消耗品費	¥64,162	
通信運搬費	¥111,619	
印刷製本費	¥37,512	
諸費	¥64,000	
支 出 総 計	¥12,286,293	
残 高	¥1,800,707	

備考

残金は九州学連運営費に充当

令和8年度 北海道学生バドミントン連盟
事業計画及び予算書

項目	収入	支出	収支差額
前年度繰越金	10,962,604		
登録費			備考: 団体数・加盟人数
北海道学連団体加盟費	750,000		¥25,000×30校
北海道学連個人登録費	1,250,000		¥2,500×500名
全日本学連加盟費	150,000	150,000	¥5,000×30校
全日本学連登録費	1,000,000	1,000,000	¥2,000×500名
小計	3,150,000	1,150,000	2,000,000
事業名			
大会名 春季リーグ戦大会 期間 4月23日～4月26日 会場 江別市民体育館	950,000	1,000,000	-50,000
			※道協会補助金 14万円
大会名 北海道学生選手権大会 期間 5月30日～6月3日 会場 小樽市総合体育館	1,340,000	1,500,000	-160,000
			※道協会補助金 14万円
大会名 東日本学生バドミントン選手権大会 期間 8月26日～9月4日 会場 北海きたえーる	10,000,000	10,000,000	0
大会名 秋季リーグ戦大会 期間 9月17日～9月20日 会場 北ガスアリーナ札幌46	840,000	950,000	-110,000
大会名 会長杯争奪選手権大会 期間 11月12日～11月15日 会場 深川市総合体育館	1,750,000	1,400,000	350,000
大会名 新人戦大会 期間 11月28日～12月1日 会場 岩見沢市総合体育館	1,100,000	1,130,000	-30,000
小計	15,980,000	15,980,000	0
北海道協会 負担金		100,000	-100,000
広告費	100,000	30,000	70,000
雑収入	15,000		15,000
全日本インカレ参加費	150,000	150,000	0
全日本大学対抗戦参加費	150,000	150,000	0
東日本インカレ参加費	800,000	800,000	0
役員活動費		2,550,000	
会議費		500,000	
派遣費		1,000,000	
通信運搬費(通信運搬費・電話代)		50,000	
印刷製本費		0	
諸費(諸費・消耗品・食糧費・手数料)		1,000,000	
積立金		0	
学連予備費(現金保有分)		0	
収入総計	31,307,604		
支出総計		20,910,000	
残高			10,397,604
次年度繰越金			10,397,604

2026年度 東北学生バドミントン連盟
事業計画及び予算書(案)

項 目	収 入	支 出	収 支 差 額
前年度繰越金	7,852,154	/	7,852,154
登録費			備考: 団体数・加盟人数
東北学連団体加盟費	150,000	/	(@5,000×30校)
東北学連個人登録費	700,000	/	(@2,000×350名)
全日本学連加盟費	150,000	150,000	(@5,000×30校)
全日本学連登録費	700,000	700,000	(@2,000×350名)
全日本学連交付金(東日本インカレ)	0	/	
小計	1,700,000	850,000	850,000
事業名			
大会名 春季リーグ・選手権大会 期間 2026.5.25(月)～5.30(土) 会場 仙台市宮城野体育館	1,500,000	2,000,000	-500,000
			特記事項
大会名 秋季リーグ 期間 2026.11.9(月)～11.11(水) 会場 仙台市宮城野体育館	900,000	900,000	0
			特記事項
大会名 新人戦 期間 2026.12.1(火)～12.4(金) 会場 仙台市宮城野体育館	1,200,000	1,100,000	100,000
			特記事項
小計	3,600,000	4,000,000	-400,000
雑収入	0	/	/
全日本インカレ参加費	188,000	188,000	0
役員活動費	0	716,000	-716,000
会議費	/	0	※東日本インカレ 北海道開催 の為派遣費増額
派遣費	/	400,000	
通信運搬費(通信運搬費・電話代)	/	66,000	
印刷製本費	/	0	
諸費(諸費・消耗品・食糧費・手数料)	0	250,000	
積立金	0	0	0
学連予備費(現金保有分)	0	0	0
収入総計	13,340,154	/	/
支出総計	/	5,754,000	/
残 高	/	/	7,586,154
次年度繰越金	/	/	7,586,154

令和8年度 関東学生バドミントン連盟
事業計画及び予算書

(単位:円)

項 目	収 入	支 出	収 支 差 額
前年度繰越金	34,579,566		
登録費			備考: 団体数・加盟人数
関東学連団体加盟費	1,610,000		男子:88、女子:73
関東学連個人登録費	3,550,000		1775人
全日本学連加盟費	805,000		男子:88、女子:73
全日本学連登録費	3,550,000		1775人
小計	9,515,000	0	9,515,000
事業名			
2026年度 関東大学バドミントン春季リーグ戦 4月18日～5月10日 関東各県・平塚総合体育館	3,522,000	5,000,000	-1,478,000
			特記事項
2026年度 関東学生バドミントン選手権大会 6月8日～7月26日(内10日間) 所沢市民体育館・平塚総合体育館	6,818,000	4,657,230	2,160,770
			特記事項
2026年度 関東大学バドミントン秋季リーグ戦 9月5日～9月23日 関東各県・平塚総合体育館	3,378,000	5,000,000	-1,622,000
			特記事項
2026年度 関東学生新人選手権大会 2月8日～19日(内9日間) 所沢市民体育館	4,788,000	3,768,731	1,019,269
			特記事項
			0
			特記事項
役員活動費		4,244,105	
会議費		700,000	
派遣費		120,000	
通信運搬費(通信運搬費・電話代)		424,105	
印刷製本費		0	
諸費(諸費・消耗品・食糧費・手数料)		3,000,000	
積立金		0	
学連予備費(現金保有分)		0	
収入総計	62,600,566		
支出総計		22,670,066	
残 高			39,930,500
次年度繰越金			39,930,500

令和8年度 関西学生バドミントン連盟
事業計画及び予算（案） （令和8年1月1日～12月31日）

項 目	収 入	支 出	収 支 差 額
前年度一般会計繰越金	6,107,398		
前年度特別会計繰越金	2,240,457		
登録費 備考：団体数・加盟人数(校@15,000×102校, @2,000×1,410人, @5,000×102校, @2,000×1,410人)			
関西学連団体加盟費	1,530,000		
関西学連個人登録費	2,820,000		
全日本学連加盟費	510,000	510,000	0
全日本学連登録費	2,820,000	2,820,000	0
小計	7,680,000	3,330,000	4,350,000
事業名			
大会名 関西学生春季リーグ戦	1,960,000	3,800,000	-1,840,000
期間 4/26～5/17	特記事項 85校		
会場 皇子が丘体育館他	1～3部@25,000円×48校 4～5部@20,000円×37校		
大会名 関西学生選手権大会	3,564,000	3,500,000	64,000
期間 5/10～6/11	特記事項 単728名、複454組		
会場 ダイハツアリーナ他	単@2,000×728人、複@4,000×454組		
大会名 関西学生秋季リーグ戦	2,040,000	2,800,000	-760,000
期間 9/16～9/23	特記事項 91校		
会場 和歌山ビッグウェーブ他	1～3部@25,000円×48校 4～5部@20,000円×43校		
大会名 関西学生新人戦大会	2,717,500	2,300,000	417,500
期間 10/25～11/29	特記事項 単562名、複266組		
会場 龍谷大学深草キャンパス他	単@2,500×562人、複@5,000×266組		
大会名 全日本学生大学対抗戦	3,610,000	3,610,000	0
期間 11/5～11/8	特記事項 64校 @20,000円		
会場 姫路スーパーアリーナ			
小計	13,891,500	16,010,000	-2,118,500
寄附金（協賛金）	150,000		
補助金（助成金）	50,000		
雑収入	10,000		
全日本インカレ参加費（個人）	883,000	883,000	0
全日本インカレ参加費（団体）	403,000	403,000	0
東・西日本インカレ参加費	4,945,000	4,945,000	0
役員活動費		2,260,000	
会議費		200,000	
派遣費		1,000,000	
通信運搬費（通信運搬費・電話代）		160,000	
印刷製本費		0	
諸費（諸費・消耗品・食糧費・手数料・事務所費）		900,000	
積立金		0	
学連予備費（現金保有分）	0	0	
収入総計	36,360,355		
支出総計		27,831,000	
残 高			8,529,355
特別会計繰越金	2,240,457		2,240,457
次年度繰越金			8,529,355

（一般会計：6,288,898円、特別会計：2,240,457円）

令和8年度 中部学生バドミントン連盟事業予算書

項 目	収 入	支 出	収 支 差 額
前年度繰越金	24,398,607		
登録費			備考：団体数・加盟人数
中部学連団体加盟費	630,000		9000×70チーム
中部学連個人登録費	2,400,000		2000×1200名
全日本学連加盟費	350,000	350,000	5000×70チーム
全日本学連登録費	2,400,000	2,400,000	2000×1200名
小計	5,780,000	2,750,000	3,030,000
事業名			
第87回北信越大学バドミントン選手権大会 期間：R8.4.1-4.3 場所：石川県金沢市総合体育館	500,000	500,000	0
特記事項			
第142回東海大学/第74回東海学生バドミントン選手権大会 期間：R8.4.1-4.4 会場：枇杷島スポーツセンター、一宮市総合体育館、愛知大学	2,000,000	2,000,000	0
特記事項			
第75回中部大学/第76回中部学生バドミントン選手権大会 期間 会場	2,000,000	2,000,000	0
特記事項			
第74回北信越学生バドミントン選手権大会 期間：R8.18-8.21 場所：新潟県秋葉区総合体育館	1,500,000	1,500,000	0
特記事項			
第143回東海大学/第48回東海学生新人バドミントン選手権大会 期間：R8.8.24-8.28 会場 枇杷島スポーツセンター、露橋スポーツセンター	2,500,000	2,500,000	0
特記事項			
第88回北信越大学バドミントン選手権大会 期間：R8.11.11-11.13 場所：富山県氷見市ふれあいスポーツセンター	1,500,000	1,500,000	0
特記事項			
第77回全日本学生バドミントン選手権大会 期間 場所 いしかわ総合スポーツセンター	7,590,072	7,590,072	0
特記事項			
第33回北信越新人学生バドミントン選手権大会 期間：R8.12.5-12.8 場所：長野県ユメックスアリーナ	1,000,000	1,000,000	0
特記事項			
小計	18,590,072	18,590,072	0
雑収入	0		0
会議費		0	
派遣費		0	
通信運搬費（通信運搬費・電話代）		0	
印刷製本費		0	
諸費（諸費・消耗品・食糧費・手数料）		0	
積立金		0	
学連予備費（現金保有分）		200,000	
役員活動費		200,000	
収入総計	48,768,679		
支出総計		21,820,072	
残 高			26,948,607
次年度繰越金			26,948,607

令和8年2月22日

中部学生バドミントン連盟 会計
会計責任者 三島葉右

令和8年度 中四国学生バドミントン連盟
事業計画及び予算書

(単位:円)

項 目	収 入	支 出	収 支 差 額
前年度繰越金	3,775,843		
登録費			備考: 団体数・加盟人数
北海道学連団体加盟費	212,000		(@4000×53)
北海道学連個人登録費	1,482,000		(@3000×494)
全日本学連加盟費	265,000	265,000	(@5000×53)
全日本学連登録費	988,000	988,000	(@2000×494)
小 計	2,947,000	1,253,000	1,694,000
事業名			
大会名 第46回中四国学生バドミントンリーグ	1,100,000	1,000,000	100,000
期間 未定	特記事項		
会場 高知県県民体育館			
大会名 第70回中四国学生バドミントン選手権大会	3,400,000	3,000,000	400,000
期間 2026年6月15日(月)～19日(金)	特記事項		
会場 山口県維新大晃アリーナ			
大会名 第51回中国学生バドミントン選手権大会	2,000,000	1,700,000	300,000
期間 2026年8月11日(火)～14日(金)	特記事項		
会場 鳥取市民体育館			
大会名 第66回西日本学生バドミントン選手権大会	13,700,000	13,000,000	700,000
期間 2026年8月31日(月)～9月9日(水)	特記事項		
会場 鳥取市民体育館、鳥取県県民体育館、鳥取県産業体育館			
大会名			0
期間	特記事項		
会場			
役員活動費		2,501,153	
会議費		80,000	
派遣費		1,200,000	
通信運搬費(通信運搬費・電話代)		50,000	
印刷製本費		100,000	
諸費(諸費・消耗品・食糧費・手数料)		1,000,000	
積立金		0	
学連予備費(現金保有分)		71,153	
収入総計	26,922,843		
支出総計		22,454,153	
残 高			4,468,690
次年度繰越金			4,468,690

令和8年度 九州学生バドミントン連盟
事業計画及び予算書
(自 令和8年1月1日 ~ 至 令和8年12月31日)

(単位:円)

項 目	収 入	支 出	収 支 差 額
前年度繰越金	5,125,712	/	/
登録費			備考: 団体数・加盟人数
九州学連団体加盟費	270,000	/	団体数: 54(1団体5,000円)
九州学連個人登録費	1,923,000	/	加盟人数: 641人(1人3,000円)
全日本学連加盟費	270,000	270,000	団体数: 54(1団体5,000円)
全日本学連登録費	1,282,000	1,282,000	加盟人数: 641人(1人2,000円)
小 計	3,745,000	1,552,000	2,193,000
事業名			
大会名 第66回九州学生バドミントンリーグ戦大会 期間 2026/5/23 ~ 2026/5/26 会場 久留米市立みづま総合体育館	1,867,000	2,101,217	-234,217
		特記事項	
大会名 第75回九州学生バドミントン選手権大会 期間 2026/6/11(木)~2026/6/17(水)or2026/6/26(金)~2026/7/2(木) 会場 熊本県立総合体育館	3,648,000	3,507,732	140,268
		特記事項	
大会名 第65回中国四国九州学生バドミントン選手権大会 期間 2026/11/20 ~ 2026/11/26 会場 シーハットおおむら、内村記念アリーナ	3,855,000	3,050,000	805,000
		特記事項	
大会名 九州地区合同合宿 期間 未定 会場	0	150,000	-150,000
		特記事項	
大会名 期間 会場			0
		特記事項	
小 計	9,370,000	8,808,949	561,051
広告費	100,000	0	100,000
雑収入	6,000	/	6,000
西日本学生バドミントン選手権大会	0	400,000	-400,000
全日本学生バドミントン選手権大会	0	600,000	-600,000
全日本学生バドミントン大学対抗戦	0	400,000	-400,000
役員活動費	/	1,160,000	/
旅費交通費	/	500,000	/
給与手当	/	600,000	/
福利厚生費	/	60,000	/
通信運搬費(通信運搬費・電話代)	/	600	/
印刷製本費	/	0	/
諸費(諸費・消耗品・手数料)	/	100,000	/
積立金	/	0	/
学連予備費(現金保有分)	/	0	/
収入総計	18,346,712	/	/
支出総計	/	12,920,949	/
残 高	/	/	5,425,763
次年度繰越金	/	/	5,425,763

**令和 8 年度 文部科学大臣杯争奪
第 7 7 回全日本学生バドミントン選手権大会開催要項(案)**

1. 主催 公益財団法人日本バドミントン協会、一般社団法人全日本学生バドミントン連盟
2. 主管 中部学生バドミントン連盟、石川県バドミントン協会
3. 後援 石川県、公益財団法人石川県スポーツ協会
金沢市、金沢市教育委員会、金沢市スポーツ協会、金沢文化スポーツコミッション
4. 協賛 ラケットクリエイティブ株式会社（日本バドミントン専門店会）
株式会社ジールコミュニケーションズ、株式会社部活メディア
株式会社ベースボール・マガジン社 ※追加可
近畿日本ツーリスト株式会社
5. 期 日 令和 8 年 1 0 月 1 6 日（金）～ 1 0 月 2 2 日（木）
6. 開催地 石川県金沢市
7. 日程 1 0 月 1 6 日（金） 開会式・代表者会議 1 7：0 0～
1 7 日（土） 男女複 1～3 回戦
1 8 日（日） 男女単 1～3 回戦
1 9 日（月） 混合複 1～3 回戦
2 0 日（火） 男女複 4・5 回戦 男女単 4 回戦 混合複 4 回戦
2 1 日（水） 男女複準決勝 男女単 5 回戦・準決勝 混合複 5 回戦
2 2 日（木） 男女複決勝 男女単決勝 混合複準決勝・決勝
〔競技終了後〕表彰式、閉会式
8. 会場 いしかわ総合スポーツセンター
〒9 2 0 - 0 3 5 5 石川県金沢市稚日野町北 2 2 2
TEL：0 7 6 - 2 6 8 - 2 2 2 2
9. 種 目 個人戦 男子単、男子複、女子単、女子複、混合複
- 1 0. 競技規則 2026 年度(令和 8 年度) (公財) 日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程による。
- 1 1. 競技方法 (1) 各種目ともトーナメント戦方式による。3 位決定戦は行わない。
(2) シングルス・ダブルス・混合ダブルスは兼ねて出場できる。
- 1 2. 使用用具・用器具 (公財) 日本バドミントン協会検定・審査合格用具・用器具及び 2026 年度(令和 8 年度)第 1 種検定合格シャトルを使用する。

13. 参加資格 (1) 令和8年度(公財)日本バドミントン協会の会員登録を完了している者。
 (2) 令和8年度全日本学生バドミントン連盟及び各地区学生バドミントン連盟に登録を完了している者。
 (3) 原則、大会申し込み時に(公財)日本バドミントン協会公認審判員(3級以上)の有資格者であること。
 (4) 次のいずれかの条件を有する者とする。
 ①前年度(令和7年度)本大会においてベスト8以上の選手。
 ②令和8年度東日本・西日本選手権大会に採用した日本学生ランキング(東日本・西日本選手権大会前の成績)において8位以内の選手。
 ③令和8年度東日本・西日本選手権大会においてベスト32以上の選手。
 ④全日本学生バドミントン連盟に推薦された選手(若干名)。
 ⑤各地区学生連盟に推薦された選手。推薦による枠数は、北海道3名(組)、東北3名(組)、関東10名(組)、中部4名(組)、関西6名(組)、中四国3名(組)、九州3名(組)とする。
 ※男子複 女子複は、同じ所属大学でのペアとする。
 混合複は、他大学同士でのペアを認める。
 ※①②でのダブルスの参加資格は、同じペアのみ有効とする(組替え不可)。
 ※①②での参加資格は、東日本・西日本選手権大会に出場した場合のみ有効とする。
 ※⑤での混合複は、同地区のペアとする。

14. 組合せ 組合せは、本会が指名したレフェリーもしくは、デビュティールフェリーの指示の下、主管団体役員との間で厳正に執り行う。

15. 参加料 個人戦 単1人 3,000円 複1組 6,000円
運営費 1人 3,000円

16. 参加費納入方法 (1) 参加大学は参加費を各地区学生連盟が定める期日までに各地区学生連盟の口座に納入すること。納入先、締切日等については、登録地区学生連盟の指示に従うこと。
 申込後に出場を取り消しても、参加費は返金しない。
 (2) 各地区学生連盟は各大学から納入された参加費を一括して下記の主管学生連盟の口座に納入すること(参加費の正誤については、各地区学生連盟の責任において措置すること)。

振込先	
【銀行名】 三菱UFJ銀行	【銀行コード】 0005
【支店名】 星ヶ丘支店	【店番】 276
【口座名義】 中部学生バドミントン連盟ミシマヨウ	【口座番号】 0090158
会計責任者 三島 葉右	

17. 申込締切 (1) メール申込締切日 **9月18日(金) 13:00**
 (2) 参加費納入締切日 **9月24日(木)**
 ・各地区学生連盟にて取りまとめた申し込みのため、各地区学連への申込締切日については、登録地区学生連盟からの指示に従うこと。

18. 参加申込方法 参加申し込みは「全日本学生バドミントン大学対抗戦」との2大会分を一括で行う。参加大学からの申し込みは全て所属する地区学連で取りまとめ、地区学連より一括で手続きを行うこと。
- (1) 参加大学の行う手続き
- ①全日本学生連盟ホームページからダウンロードした所定の申込書(Excel)に必要な事項を入力し「入力したファイル」を電子メールにて所属する地区学連宛てに送信すること。
※ファイルは、2大会分を男女チーム含めて各大学で1つのファイルとなります。
メールの件名、ファイル名は「【〇〇大学】インカレ申込」として下さい。
- ②混合複で他大学同士でペアを組む場合、申込書は双方から提出すること。
- ③送信したファイル、メール送信記録は残しておくこと。
- (2) 各地区学連の行う手続き
- ①各地区学生連盟は各地区登録の参加申込書を取りまとめ、中部学連(本大会主管)及び関西学連(大学対抗戦主管)宛に cc.全日本学連を加え、メールで送付する。
- 【to.中部学生バドミントン連盟 宛】chubugakuren.bad@gamil.com
【to.関西学生バドミントン連盟 宛】kansaiabad@gmail.com
【cc.全日本学生バドミントン連盟 宛】japanibf.info@gmail.com
19. 表彰 (1)優勝者には、優勝杯、賞状、(公財)日本バドミントン協会より金メダルを授与する。
(2)準優勝・3位の入賞者には、それぞれ賞状、(公財)日本バドミントン協会より銀・銅メダルを授与する。
(3)表彰を受けるものは、競技終了後の表彰式に必ず参加すること。
20. 代表者会議 各チーム(男子チーム、女子チームは各々)は、代表者会議及び開会式に1名必ず参加すること。なお、開会式・代表者会議には、シューズ着用のうえ、チームウェアで参加すること。
21. 大会事務局 〒474-8651 愛知県大府市横根町名高山55
至学館大学健康科学部 十枝内研究室
中部学生バドミントン連盟 委員長 吉田 翔一
22. 宿泊 別紙宿泊要項のとおり。
23. 着衣 競技時の服装は、(公財)日本バドミントン協会審査合格品とし、上衣ウェアの背面に大学名を必ず明示すること(全日本学生連盟ホームページ「各種書類」にある『着衣上の背面、ロゴ等の表示に関する取り決め』参照のこと)。ゼッケンを使用する場合には、横30cm×縦15cmを基準とし、必ず四隅を固定すること。なお、文字列の大きさについては(公財)日本バドミントン協会大会運営規程第24条による。
24. ドーピング規定(1)本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づく、ドーピング・コントロール対象大会である。
(2)日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容及びドーピング検査については(公財)日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtrue.japan.org>)にて確認すること。

25. 備考
- (1) 競技者(部長、監督、コーチ、主将、主務、選手)は(公財)日本バドミントン協会登録会員であること。
 - (2) 競技者は、マッチにふさわしい服装で臨むこと。また競技場に入る際は必ず室内シューズを着用すること。
 - (3) 本大会は敗者審判を求める場合があります。その際は長ズボン(ジャージ可)の着用が必要です。競技者は必ず持参してください。
 - (4) 事故があった場合、応急処置は行いますが、その後の責任は各参加者の負担とする。
 - (5) 病気・事故に備えて、各自健康保険証を持参すること。
 - (6) 大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。
 - (7) 本大会の一部の試合は、インターネット配信を予定している。
また大会結果・写真等は関連ホームページ・報道機関に提供・公開されることがある。
 - (8) 新型コロナウイルス感染症等防止対策を行う場合は、大会HPに案内いたします。
 - (9) 競技中の怪我等の応急処置は主催者(主管者)で行いますが、障害保険は(公財)日本バドミントン協会に加入していますので、必要な方は、協会ホームページの1種大会バドミントン事故報告書をご覧ください。
 - (10) 開催地のごみの分別方法に従い、分別収集に協力してください。
 - (11) 宿泊先(ホテル等)では、節水・節電に努めましょう。
 - (12) マイ歯ブラシ、マイバック並びマイボトルを持参しましょう。
 - (13) 大会詳細やお知らせ(諸事情により中止するなどの場合を含め)等は全日本学連のホームページに随時掲載する。

予 算 報 告 書

全日本学生バドミントン選手権大会

○

全日本学生バドミントン大学対抗戦

東日本学生バドミントン選手権大会

西日本学生バドミントン選手権大会

※ 該当する大会名の先頭に○印を付ける

収 入		
項 目	金 額	備 考
日本バドミントン協会補助金	1,000,000	
全日本学生バドミントン連盟交付金	2,280,000	
前年度繰越金	1,106,072	
大会参加費	2,304,000	
広告料	400,000	協賛金等
雑収入(補助金等)	500,000	
収 入 総 計	7,590,072	

支 出		
項 目	金 額	備 考
会場費	770,000	いしかわ総合
シャトル代	2,310,000	300ダース
大会参加記念品代(Tシャツ)	0	全日負担
役員活動費	2,040,000	
会議費	300,000	組み合わせ会議
派遣費	1,300,000	
通信運搬費	200,000	郵送料等
印刷製本費	240,000	1000×240
諸費(表彰費等)	430,072	内訳別紙掲載
支 出 総 計	7,590,072	
残 高	0	

以上のとおり相違ありません

2026/1/23
2026/2/22
修正日 中部学生バドミントン連盟 会計 三島葉右

諸費内訳		
項 目	金 額	備 考
食料費	56,000	
消耗品代	10,000	
宿泊費	300,000	
交通費	60,000	
手数料	4,072	
支 出 総 計	430,072	

令和8年度 秩父宮・秩父宮妃杯争奪
第77回全日本学生バドミントン大学対抗戦 開催要項(案)

1. 主催 公益財団法人 日本バドミントン協会、一般社団法人 全日本学生バドミントン連盟
2. 共催 一般社団法人 大学スポーツ協会 (UNIVAS)
3. 主管 関西学生バドミントン連盟、兵庫県バドミントン協会
4. 後援 (未定)
5. 協賛 ラケットクリエイティブ株式会社 (日本バドミントン専門店会)
ジェイシップ株式会社、株式会社ジールコミュニケーションズ
株式会社ベースボール・マガジン社
(他 未定・変更の可能性あり)
6. 期日 令和8年11月5日(木)～8日(日)
7. 開催地 兵庫県姫路市
8. 日程 令和7年11月5日(木) 17:00 開会式・代表者会議
6日(金) 9:00 1～2回戦
7日(土) 10:00 3回戦・準決勝
8日(日) 10:00 決勝
表彰式、閉会式(競技終了後)
9. 会場 姫路スーパーアリーナ
〒670-0971 兵庫県姫路市西延末450番地
TEL:未定
10. 種目 男子団体戦、女子団体戦
11. チーム編成 (1) チーム役員(部長・監督・主将・主務各1名、コーチ2名まで)、選手4～10名とする。
(2) チーム役員のうち、選手として出場するものは選手人数に含める。
(3) 申込後の団体戦のメンバー変更は代表者会議において申請できる。
12. 競技規則 2026年度(令和8年度)(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程による。
13. 競技方法 (1) トーナメント方式とし3位決定戦は行わない。
(2) 試合順は単1・単2・複1・複2・単3とする。
(3) 1対抗戦は3マッチ先取とする。
14. 使用用具・用器具 (公財)日本バドミントン協会検定・審査合格用具・用器具及び2026年度(令和8年度)第1種検定合格シャトルを使用する。
15. 参加資格 (1) 令和8年度(公財)日本バドミントン協会の会員登録をしている者。
(2) 令和8年度全日本学生バドミントン連盟及び各地区連盟に登録を完了している者。
(3) 令和8年度東日本・西日本学生バドミントン選手権大会においてベスト8以上の大学及び各地区学生バドミントン連盟に推薦された大学。推薦による枠数は、北海道2校、東北2校、関東3校、中部2校、関西3校、中四国2校、九州2校とする。
(4) 原則、大会申し込み時に(公財)日本バドミントン協会公認審判員(3級以上)の有資格者であること。
16. 組合せ 組合せは、本会が指名したレフェリーもしくは、デビュティーレフェリーの指示の下、主管団体役員との間で厳正に執り行う。
17. 参加料 1チーム 20,000円
18. 参加費納入方法 (1) 参加大学は参加費を各各地区学生連盟が定める期日までに各各地区学生連盟の口座に納入すること。納入先、締切日等については、登録地区学生連盟の指示に従うこと。申込後に出場を取り消しても、参加費は返金しない。

- (2) 各地区学生連盟は各大学から納入された参加費を一括して下記の主管学生連盟の口座に納入すること(参加費の正誤については、各地区学生連盟の責任において措置すること)。

振込先	
【銀行名】 ゆうちょ銀行	【口座番号】 8915561
【口座名義】 関西学生バドミントン連盟	【店番】 438
【口座記号番号】 14350 - 94172841	
会計責任者 村田美来	

19. 申込締切 (1) メール申込締切日 9月17日(木)
(2) 参加費納入締切日 9月18日(金)
・各地区学生連盟にて取りまとめたの申し込みのため、各地区学連への申込締切日については、登録地区学生連盟からの指示に従うこと。
20. 参加申込方法 参加申し込みは「全日本学生バドミントン選手権大会」との2大会分を一括で行う。参加大学からの申し込みは全て所属する地区学連で取りまとめ、地区学連より一括で手続きを行うこと。
- (1) 参加大学の行う手続き
①全日本学生連盟ホームページからダウンロードした所定の申込書(Excel)に必要事項を入力し「入力したファイル」を電子メールにて所属する地区学連宛てに送信すること。
※ファイルは、2大会分を男女チーム含めて各大学で1つのファイルとなります。メールの件名、ファイル名は「【〇〇大学】インカレ申込」として下さい。
②混合複に他大学同士でペアを組む場合、申込書は双方から提出すること。
③送信したファイル、メール送信記録は残しておくこと。
- (2) 各地区学連の行う手続き
①各地区学生連盟は各地区登録の参加申込書を取りまとめ、中部学連(本大会主管)及び関西学連(選手権主管)宛に cc. 全日本学連 を加えメールで送付する。
【to. 中部学生バドミントン連盟 宛】 chubugakuren.bad@gmail.com
【to. 関西学生バドミントン連盟 宛】 kansaibad@gmail.com
【cc. 全日本学生バドミントン連盟 宛】 japanibf.info@gmail.com
21. 表彰 (1) 優勝者には、優勝杯、優勝旗、賞状、(公財)日本バドミントン協会より金メダルを授与する。
(2) 準優勝・3位の入賞者には、それぞれ賞状、(公財)日本バドミントン協会より銀・銅メダルを授与する。
(3) 表彰を受けるものは、競技終了後の表彰式に必ず参加すること。
22. 代表者会議 (1) 各チーム(男子チーム、女子チームは各々)は、代表者会議及び開会式に1名必ず参加すること。なお、開会式・代表者会議には、シューズ着用のうえ、チームウェアで参加すること。
(2) 団体戦参加のチームの責任者は、メンバー変更届やオーダー用紙作成等が必要のため、必ず印鑑を持参すること。
(3) メンバー変更届は、代表者会議開始前までに代表者会議受付に提出すること。
なお、これ以降の変更は認めない。
23. 大会事務局 〒602-0819 京都府京都市上京区今出川通寺町二筋西入上る二丁目松ノ木町327-6
関西学生バドミントン連盟 委員長 池淵 百恵 (090-6338-7705)
※大会期間中は会場を事務局とする。

24. 宿 泊 別紙宿泊要項のとおり。
25. 着 衣 競技時の服装は、(公財)日本バドミントン協会審査合格品とし、上衣ウェアの背面には大学名を必ず明示すること(全日本学生バドミントン連盟ホームページ「各種書類」にある『着衣上の背面、ロゴ等の表示に関する取り決め』を参照のこと)。
また、ゼッケンを使用する場合には、横30cm×縦15cmを基準とし、必ず四隅を固定すること。なお、文字列の大きさについては(公財)日本バドミントン協会大会運営規程第24条による。
26. アンチ・ドーピング規定
(1)本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づく、ドーピング・コントロール対象大会である。
(2)日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容及びドーピング検査については(公財)日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<https://www.playtruejapan.org>)にて確認すること。
27. 備 考 (1) 競技者(部長、監督、コーチ、主将、主務、選手)は(公財)日本バドミントン協会登録会員であること。
(2) 競技者は、マッチにふさわしい服装で臨むこと。また競技場に入る際は必ず室内シューズを着用すること。
(3) 本大会は敗者審判を求める場合があります。その際は長ズボン(ジャージ可)の着用が必要ですので、競技者は必ず持参してください。
(4) 事故があった場合、応急処置は行うが、その後の責任は各参加者の負担とする。
(5) 病気・事故に備えて、各自健康保険証を持参すること。
(6) 大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。
(7) 本大会の一部の試合は、インターネット配信を予定している。また大会結果・写真等は、関連ホームページ・報道機関に提供・公開されることがある。
(8) 新型コロナウイルス感染症等防止対策を行う場合は、大会HPに案内いたします。
(9) 競技中の怪我等の応急処置は主催者(主管者)で行いますが、障害保険は(公財)日本バドミントン協会に加入していますので、必要な方は、協会ホームページの1種大会バドミントン事故報告書をご覧ください。
(10) 開催地のごみの分別方法に従い、分別収集に協力してください。
(11) 宿泊先(ホテル等)では、節水・節電に努めましょう。
(12) マイ歯ブラシ、マイバック並びマイボトルを持参しましょう。
(13) 大会詳細やお知らせ(諸事情により中止するなどの場合を含め)等は全日本学連のホームページに随時掲載する。

予 算 報 告 書

全日本学生バドミントン選手権大会

○全日本学生バドミントン大学対抗戦

東日本学生バドミントン選手権大会

西日本学生バドミントン選手権大会

※ 該当する大会名の先頭に○印を付ける

収 入		
項 目	金 額	備 考
日本バドミントン協会補助金	1,000,000	
全日本学生バドミントン連盟交付金	1,000,000	
大会参加費	1,280,000	
寄附金	0	
広告料	300,000	
雑収入（パンフレット収入等）	30,000	
収 入 総 計	3,610,000	

支 出		
項 目	金 額	備 考
会場費	700,000	
シャトル代	1,023,000	
大会参加記念品代（Tシャツ）	0	
役員活動費	1,250,000	
会議費	200,000	
派遣費	1,000,000	
通信運搬費	0	
印刷製本費	50,000	
諸費（表彰費等）	637,000	
支 出 総 計	3,610,000	
残 高	0	

令和8年度 第69回東日本学生バドミントン選手権大会 開催要項（案）

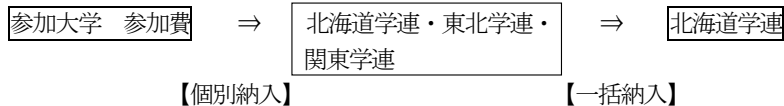
- | | | |
|-----|---------|---|
| 1. | 主 催 | 一般社団法人全日本学生バドミントン連盟 |
| 2. | 管 理 | 北海道学生バドミントン連盟 |
| 3. | 共 催 | 北海道バドミントン協会 |
| 4. | 協 賛 | |
| 5. | 期 日 | 北海道学生バドミントン連盟加盟大学
令和8年8月26日（水）～9月4日（金） |
| 6. | 開 催 地 | 北海道札幌市 |
| 7. | 日 程 | 8月26日（水） 開会式・代表者会議
16:00～ 北海道立総合体育センター サブアリーナ（予定）
27日（木） 団体戦
28日（金）～29日（土） 団体戦
個人戦（※団体戦と並行進行）
30日（日）～9月4日（金） 個人戦
9月4日（金） 閉会式（競技終了後） |
| 8. | 会 場 | 北海道立総合体育センター（北海きたえーる）
〒062-8572 札幌市豊平区豊平5条11丁目1番1号 TEL: 011-820-1703 |
| 9. | 種 目 | 団体戦：男子・女子（2複・3単）
個人戦：男子・女子（単・複・混合複） |
| 10. | チーム 編 成 | (1) チーム役員（部長・監督・主将・主務各1名、コーチ2名まで）選手4～10名とする。
(2) チーム役員のうち、選手として出場するものは選手人数に含める。
(3) 申込後の団体戦のメンバー変更は代表者会議終了までに指定の用紙にて申請できるそれ以降は認めない。
(4) 団体戦参加校の責任者は、メンバー変更届やオーダー用紙等で必要なため、必ず印鑑を持参すること。 |
| 11. | 競 技 規 則 | 令和8年度(公財)日本バドミントン協会競技規則・同大会運営規程及び同公認審判員規程による。 |
| 12. | 競 技 方 法 | (1) 各種目ともトーナメント方式とする。
(2) 団体戦の試合順は単1・単2・複1・複2・単3とする。
(3) 団体戦は3マッチ先取とする。 |
| 13. | 使用用器具 | 令和8年度(公財)日本バドミントン協会検定・審査合格用器具及び令和8年度第1種検定合格水鳥球を使用とする。 |
| 14. | 参 加 資 格 | (1) 令和8年度(公財)日本バドミントン協会会員登録を完了している者。
(2) 令和8年度(一社)全日本学生バドミントン連盟及び北海道学生バドミントン連盟、東北学生バドミントン連盟、関東学生バドミントン連盟の登録を完了している者。
<u>(3) 個人戦は、3種目（単・複・混合複）の内、2種目まで出場することができる。</u> |

15. 参加料・運営費	参加料	団体戦 1チーム	20,000円
		個人戦 単1名	3,000円
		複1組	6,000円
		混合複1組	6,000円

※「注意：運営・施設使用料等を追加する場合は全日にご相談ください」

16. 納入方法
- (1) 参加大学は参加費を各各地区学生連盟が定める期日までに各各地区学生連盟の口座に納入すること。納入先、締切日等については、登録地区学生連盟の指示に従うこと。申込後に出場を取り消しても、参加費は返金しない。
- (2) 各地区学生連盟は各大学から納入された参加費を一括して下記の主管学生連盟の口座に納入すること（参加費の正誤については、各地区学生連盟の責任において措置すること）。

振り込み先：北洋銀行
支店：北二十四条支店（読み きたにじゅうよじょうしてん）
店番：319
口座：普通預金
口座番号：4182120
口座名：北海道学生バドミントン連盟



17. 申込締切 **各地区学生連盟にて取りまとめるため、各地区学連の申込締切日に従うこと。**
各地区参加大学数や地区大会が異なることを考慮して申し込み締め切り日をそれぞれに設けている。

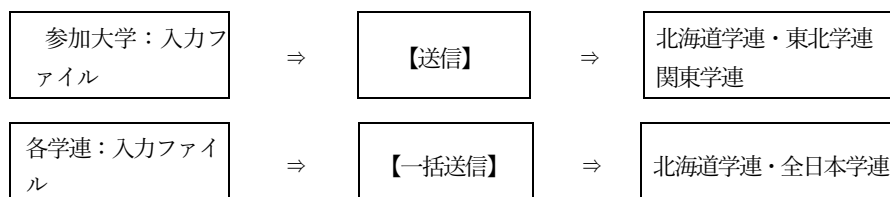
- | | | |
|---------------|-----------|---------|
| (1) 北海道学連所属大学 | ①メール申込締切日 | ○/○○(○) |
| | ②参加費納入締切日 | ○/○○(○) |
| (2) 東北学連所属大学 | ①メール申込締切日 | ○/○○(○) |
| | ②参加費納入締切日 | ○/○○(○) |
| (3) 関東学連所属大学 | ①メール申込締切日 | ○/○○(○) |
| | ②参加費納入締切日 | ○/○○(○) |

18. 申込方法
- (1) 参加大学の行う手続き
- ①全日本学生連盟ホームページからダウンロードした所定の申込書（Excel）に必要事項を入力し「入力したファイル」を電子メールにて所属する地区学連宛てに送信すること。各地区学連のメールアドレスは以下に記載している通り。
※メールの件名、ファイル名は「【○○大学】東日本_申込」としてください。
 - ②混合複に他大学同士でペアを組む場合、申込書は双方から提出すること。
 - ③送信したファイル、メール送信記録は残しておくこと。
- 【北海道学生バドミントン連盟 宛】 hokkaido_bad@gmail.com
【東北学生バドミントン連盟 宛】 info@tohoku-gakusei-badminton.com
【関東学生バドミントン連盟 宛】 kantoibf.madoguti@gmail.com

(2) 各地区学連の行う手続き

各地区学生連盟は各地区登録の参加申込書を取りまとめ、北海道学連宛・(一社)全日本学生バドミントン連盟(総務部、競技部)宛メールで送付する。

【to. 北海道学生バドミントン連盟 宛】 hokkaido.bad@gmail.com
【Cc. (一社)全日本学生バドミントン連盟 宛】 総務部： japanibf.info@gmail.com
競技部： japanibf.kyoudgi@gmail.com



※参加大学は各地区学生連盟が定める期日までに各地区学連事務局に送信すること。

(3) 各地区学連が行う手続き

各地区学連は参加申し込みの際に「学連内ランキング(団体)名簿」を主管学連に提出すること。

「学連内ランキング」⇒ 関東学連： 団体：16位以上
北海道学連： 団体：3位以上
東北学連： 団体：3位以上

19. 申込締切日 令和8年7月中旬頃(予定)
20. 組み合わせ (一社)全日本学生バドミントン連盟指名の競技役員長(レフェリー)もしくは、競技審判部長(デビュティレフェリー)の指示の下、北海道学生バドミントン連盟との間で厳正に執り行う。
21. 表彰 (1) 団体戦優勝校には、優勝杯並びに賞状の授与を行う。
(2) 団体戦3位までの入賞校には、賞状の授与を行う。
(3) 個人戦優勝者には、優勝杯並びに賞状の授与を行う。
(4) 個人戦3位までの入賞者には、賞状の授与を行う。
21. 代表者会議 各チーム(男子チーム、女子チームは各々)は、代表者会議及び開会式に1名必ず参加すること。なお、開会式・代表者会議には、シューズ着用に加え、チームウェアで参加すること。
令和8年8月26日(水) 16:00～
会 場 北海道立総合体育センター(北海きたえーる)サブアリーナ(予定)
住 所 札幌市豊平区豊平5条11丁目1番1号 TEL: 011-820-1703
22. 大会事務局 〒069-8511
北海道江別市文京台23番地 北翔大学 竹内研究室気付
北海道学生バドミントン連盟 専務理事 竹内 雅明
北海道学生連盟アドレス: hokkaido.bad@gmail.com
北海道学生連盟HP: <https://gakubad.jp>
23. 着 衣 色付き着衣を使用する場合は競技の品位を保つために(公財)日本バドミントン協会審査合格品とし、上衣ウェアの背面には、(一社)全日本学生バドミントン連盟ホームページ「各種書類」にある『着衣上の背面、ロゴ等の表示に関する取り決め』を参照のこと、大学名を横30cm 縦15cm の範囲内に必ず明示すること。
また、ゼッケンを使用する場合には、横30cm 縦15cmを基準とし、必ず四隅を固定すること。

24. その他
- (1) 電気代高騰に伴う空調利用料やシャトル代の高騰に伴い、本大会では出場選手1名につき1,000円の運営費の納入をすること。
 - (2) 競技者（部長・監督・コーチ・主将・主務・選手）は必ず（公財）日本バドミントン協会に登録し、参加申込書に登録番号を記載すること。
 - (3) 競技者は、マッチにふさわしい服装で臨むこと。また競技場に入る際は必ず室内シューズを着用すること。
 - (4) 事故があった場合には、応急処置は行うが、その後の責任は各参加者の負担とする。
 - (5) 病気・事故に備えて、各自健康保険証を持参すること。
 - (6) 本大会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用される。
 - (7) 大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。
 - (8) 本大会の一部の試合は、インターネット配信を予定している。
また大会結果・写真等は、関連ホームページ・報道機関等に提供・公開されることがある。
 - (9) （公財）日本バドミントン協会からのお願い
 - ①開催地のゴミの分別収集にご協力ください（ゴミは各大学で持ち帰ってください）。
 - ②宿泊先の部屋から出る時には、必ずエアコン、テレビ、ライトのスイッチを消してください。
 - ③マイ歯ブラシを持参して大会に参加してください。

以上

予 算 書 (令和 8 年度)

全日本学生バドミントン選手権大会

全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会

東日本学生バドミントン選手権大会

西日本学生バドミントン選手権大会

※該当する大会に○印

北海道学連

収 入		
項 目	金 額	備 考
日本バドミントン協会補助金	0	
全日本学生バドミントン連盟交付金	2,500,000	
大会参加費	7,500,000	運営・施設使用料を含む
寄附金	0	
広告料	0	
雑収入 (パンフレット収入等)	0	
収 入 総 計	10,000,000	

支 出		
項 目	金 額	備 考
会場費	3,100,000	
シャトル代	3,500,000	シャトル450ダース・ラインテープ・アサミ使用料
大会参加記念品代 (Tシャツ等)	0	
役員活動費	2,650,000	
会議費	1,200,000	日当
派遣費	500,000	交通費・宿泊費
通信運搬費	150,000	宅配・郵送・WiFi代
印刷製本費	800,000	プログラム・立て看板・横断幕
備品費	500,000	
諸費 (表彰費等)	250,000	レプリカプレート代等
支 出 総 計	10,000,000	
残 高	0	

※ 人件費・食費等の小項目は備考欄に内訳と金額を記載

※ 必要に応じて大項目の費目は行を最小限追加して記載

第66回西日本学生バドミントン選手権大会開催要項

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------|--|---------------------------------|-----------|-----------------|-------|-----------|-------------------------|-------|--------------------|-----------|-------|------------|--------------------------------|-------|--------------------|---------------------------------|-------|-------------|-------------------------|-------|-----------------|-------------------------|-------|--------------------|-----------|-------|------------------------------|-----------|-------|----------------------|------------------------------|
| 1. 主催 | 一般社団法人全日本学生バドミントン連盟 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 共催 | 鳥取県バドミントン協会、他未定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 主管 | 中四国学生バドミントン連盟 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. 後援 | 未定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4. 協賛 | 未定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 期日 | 令和8年8月31日(月)～9月9日(水) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6. 開催地 | 鳥取県鳥取市 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7. 日程 | <table border="0"> <tr> <td>8月31日(月)</td> <td>開会式・代表者会議</td> <td>16:00～(鳥取市民体育館)</td> </tr> <tr> <td>1日(火)</td> <td>団体戦 1・2回戦</td> <td>(男子：鳥取県民体育館、女子：鳥取市民体育館)</td> </tr> <tr> <td>2日(水)</td> <td>団体戦 BEST8 決め戦、準々決勝</td> <td>(鳥取県民体育館)</td> </tr> <tr> <td>3日(木)</td> <td>団体戦 準決勝、決勝</td> <td>男子単 1回戦 ※団体戦と並行進行
(鳥取県民体育館)</td> </tr> <tr> <td>4日(金)</td> <td>男女単 2回戦～BEST16 決め戦</td> <td>(男子：鳥取県民体育館、女子：鳥取市民体育館、鳥取産業体育館)</td> </tr> <tr> <td>5日(土)</td> <td>男女複 1回戦～3回戦</td> <td>(男子：鳥取産業体育館、女子：鳥取市民体育館)</td> </tr> <tr> <td>6日(日)</td> <td>男女複 BEST16 決めまで</td> <td>(男子：鳥取産業体育館、女子：鳥取市民体育館)</td> </tr> <tr> <td>7日(月)</td> <td>混合複 1回戦～BEST16 決め戦</td> <td>(鳥取県民体育館)</td> </tr> <tr> <td>8日(火)</td> <td>男子単複、女子単複、混合複 BEST8 決め戦、準々決勝</td> <td>(鳥取県民体育館)</td> </tr> <tr> <td>9日(水)</td> <td>男子単複、女子単複、混合複 準決勝、決勝</td> <td>[競技終了後] 表彰式、閉会式
(鳥取県民体育館)</td> </tr> </table> | 8月31日(月) | 開会式・代表者会議 | 16:00～(鳥取市民体育館) | 1日(火) | 団体戦 1・2回戦 | (男子：鳥取県民体育館、女子：鳥取市民体育館) | 2日(水) | 団体戦 BEST8 決め戦、準々決勝 | (鳥取県民体育館) | 3日(木) | 団体戦 準決勝、決勝 | 男子単 1回戦 ※団体戦と並行進行
(鳥取県民体育館) | 4日(金) | 男女単 2回戦～BEST16 決め戦 | (男子：鳥取県民体育館、女子：鳥取市民体育館、鳥取産業体育館) | 5日(土) | 男女複 1回戦～3回戦 | (男子：鳥取産業体育館、女子：鳥取市民体育館) | 6日(日) | 男女複 BEST16 決めまで | (男子：鳥取産業体育館、女子：鳥取市民体育館) | 7日(月) | 混合複 1回戦～BEST16 決め戦 | (鳥取県民体育館) | 8日(火) | 男子単複、女子単複、混合複 BEST8 決め戦、準々決勝 | (鳥取県民体育館) | 9日(水) | 男子単複、女子単複、混合複 準決勝、決勝 | [競技終了後] 表彰式、閉会式
(鳥取県民体育館) |
| 8月31日(月) | 開会式・代表者会議 | 16:00～(鳥取市民体育館) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1日(火) | 団体戦 1・2回戦 | (男子：鳥取県民体育館、女子：鳥取市民体育館) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2日(水) | 団体戦 BEST8 決め戦、準々決勝 | (鳥取県民体育館) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3日(木) | 団体戦 準決勝、決勝 | 男子単 1回戦 ※団体戦と並行進行
(鳥取県民体育館) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 4日(金) | 男女単 2回戦～BEST16 決め戦 | (男子：鳥取県民体育館、女子：鳥取市民体育館、鳥取産業体育館) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5日(土) | 男女複 1回戦～3回戦 | (男子：鳥取産業体育館、女子：鳥取市民体育館) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 6日(日) | 男女複 BEST16 決めまで | (男子：鳥取産業体育館、女子：鳥取市民体育館) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 7日(月) | 混合複 1回戦～BEST16 決め戦 | (鳥取県民体育館) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 8日(火) | 男子単複、女子単複、混合複 BEST8 決め戦、準々決勝 | (鳥取県民体育館) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 9日(水) | 男子単複、女子単複、混合複 準決勝、決勝 | [競技終了後] 表彰式、閉会式
(鳥取県民体育館) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

※ 会場は、参加数(試合数)により決定しますので変更となることがあります。

- | | |
|-------|---------------------------|
| 8. 会場 | 鳥取県民体育館 |
| | 〒680-1417 鳥取県鳥取市桂見1-4-6-1 |
| | 電話 0857-31-6911 |
| | 鳥取市民体育館 |
| | 〒680-0864 鳥取県鳥取市吉成3-1-1 |
| | 電話 0857-24-5222 |

鳥取産業体育館

〒680-0847 鳥取県鳥取市天神町 50-2・50-3

電話 0857-24-2815

9. 種 目 団体戦 男子団体戦、女子団体戦
個人戦 男子単、男子複、女子単、女子複、混合複
10. チーム編成 (1) チーム役員（部長・監督・主務・各1名、コーチ2名まで）及び選手4～10名とする
(2) チーム役員のうち、選手として出場するものは選手人数に含める。
(3) 申込後の団体戦のメンバー変更は**代表者会議当日(8/31)18:00**まで申請できる
- それ以降は認めない。
11. 競技規則 令和8年度（公財）日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程による。
12. 競技方法 (1) 各種目ともトーナメント戦方式とし**3位決定戦は行わない。**
(2) 団体戦の試合順は単1・単2・複1・複2・単3とする。
(3) 団体戦は3マッチ先取とする
13. 使用器具 (公財) 日本バドミントン協会検定・審査合格用器具及び令和8年度第1種検定合格水鳥球を使用する。
14. 参加資格 (1) 令和8年度（公財）日本バドミントン協会の会員登録を完了している者。
(2) 令和8年度全日本学生バドミントン連盟及び各地区学生バドミントン連盟に登録を完了している者。
(3) **個人戦は、3種目（単、複、混合複）の内、2種目まで出場することができる。**
15. 組合せ 組合せは、本会が指名したレフェリー（競技役員長）もしくは、デビュティールフェリー（競技審判部長）の指示の下、主管団体役員との間で行う。
16. 参加料 団体戦 1チーム 20,000円
個人戦 単1人 3,000円 複1組 6,000円 混合複1組 6,000円
※「注意：運営・施設使用料等を追加する場合は全日にご相談ください」
17. 参加費納入方法 (1) 参加大学は参加費を各地区学生連盟が定める期日までに各地区学生連盟の口座に納入すること。納入先、締切日等については、登録地区学生連盟の指示に従うこと。申込後に出場を取り消しても、参加費は返金しない。
(2) 各地区学生連盟は各大学から納入された参加費を一括して下記の主管学生連盟の口座に納入すること（参加費の正誤については、各地区学生連盟の責任において措置すること）。

振込先：ゆうちょ銀行

記号：15180 番号60951731

口座名：チュウシコクガクセイバドミントンレンメイ

イル

20. 表彰 (1) 優勝者には、優勝杯並び賞状の授与をおこなう。
(2) 準優勝・3位の入賞者には、それぞれ賞状の授与をおこなう。
(3) 表彰を受けるものは、競技終了後の表彰式に必ず参加すること。
21. 代表者会議 各チーム(男子チーム、女子チームは各々)は、代表者会議及び開会式に1名必ず参加すること。なお、開会式・代表者会議には、シューズ着用のうえ、チームウェアで参加すること。
22. 大会事務局 〒790-0825 愛媛県松山市道後樋又10-13
愛媛大学 気付 中四国学生バドミントン連盟事務局
但し、大会期間中は大会が行われている各会場を事務局とする。
TEL080-3116-1070(中四国学生バドミントン連盟 委員長 生田佳志乃)
中四国学生バドミントン連盟 (<https://www.chushibad.com/>)
23. 着衣 競技時の服装は、(公財)日本バドミントン協会審査合格品とし、上衣ウェアの背面に大学名を必ず明示すること(全日本学生連盟ホームページ「各種書類」にある『着衣上の背面、ロゴ等の表示に関する取り決め』参照のこと)。ゼッケンを使用する場合には、横30cm×縦15cmを基準とし、必ず四隅を固定すること。なお、文字列の大きさについては(公財)日本バドミントン協会大会運営規程第24条による。
24. 備考 (1) **電気代高騰に伴う空調利用料の負担として、本大会では出場選手1名につき1000円の施設利用料の納入をお願いいたします。**
(2) 競技者(監督・コーチ・主将・主務・選手)の内、部長を除いた監督・コーチ・主将・主務・選手は、(公財)日本バドミントン協会に登録し、参加申込書に登録番号を記載すること。
(3) 競技者(部長・監督・コーチ・主将・主務・選手)は、マッチにふさわしい服装で臨むこと。また、競技場に入る際は、必ず室内シューズを着用すること。
(4) 競技中に事故があった場合、応急処置は行うが、以後の責任は各参加者の負担とする。
(5) 病気・事故に備えて、各自健康保険証を持参すること。
(6) 本大会は、日本アンチ・ドーピング規程が適用される。
(7) 大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。
(8) 本大会の一部の試合は、インターネット配信を予定している。また大会結果・写真等は、関連ホームページ・報道機関に提供・公開されることがある。
(9) (公財)日本バドミントン協会からのお願い
①開催地のゴミの分別収集にご協力下さい(ゴミは各大学で持ち帰って下さい)。
②宿泊先の部屋から出る時には、必ずエアコン、テレビ、ライトのスイッチを消して下さい。

- ③マイ菌ブラシを持参して大会に参加して下さい。
- (10) 新型コロナウイルス感染症防止対策等を行う場合は、大会HPに案内いたします。

予 算 報 告 書

全日本学生バドミントン選手権大会

全日本学生バドミントン大学対抗戦

東日本学生バドミントン選手権大会

○西日本学生バドミントン選手権大会

※ 該当する大会名の先頭に○印を付ける

収 入		
項 目	金 額	備 考
日本バドミントン協会補助金	¥0	
全日本学生バドミントン連盟交付金	¥2,500,000	
大会参加費	¥9,900,000	運営料@1,000を含む
寄附金	¥1,000,000	
広告料	¥100,000	
雑収入(パンフレット収入等)	¥200,000	
収 入 総 計	¥13,700,000	

支 出		
項 目	金 額	備 考
会場費	¥2,830,000	
シャトル代	¥3,300,000	
大会参加記念品代(Tシャツ)	¥3,000,000	
役員活動費	¥3,000,000	
会議費	¥20,000	
派遣費	¥500,000	
通信運搬費	¥0	
印刷製本費	¥50,000	
諸費(表彰費等)	¥300,000	
支 出 総 計	¥13,000,000	
残 高	¥700,000	

資格確認システムの地区運用の導入について

これまで資格確認システムはインカレ前に全日で開催していましたが、「期間の短いインカレ申込時の作業負担の軽減」および「未登録の防止」のため、R8年度より各地区学連にて東西大会エントリー時に実施していただくこととします。

○R8年度以降の方針

- ・資格確認システム使用権限を各地区学連ごとに取得していただく。権限者は地区学連役員（大人）とする。
- ・東西大会のエントリーの際に、自地区の申込者に対して各地区学連にて出場資格の確認をおこなう。
- ・R8年度東西大会では3級審判は必須としないが、今後、必須化も含め検討する。
- ・東西大会のエントリーの際に申請中等で確認システムに反映されていない場合は、都道府県協会への申請書類など証明できるものにてエントリーを認め、試合までに地区学連にて責任をもって再確認する。

（補足）

- ・インカレの日バ登録・3級審判（指導者は日バ登録のみ）確認期限はエントリー時とする。エントリー後の資格取得は認めない。（3級審判資格取得期限の延長のような救済措置は行わない。）
- ・団体戦のメンバーチェンジの際は、申請の際に資格証の提示（スクリーンショット等）にて確認する。

	R7（今年度）	今後の目安	R8（案）
4月			
5月			
6月			
7月	1日：地区バ切 11日：全日バ切 （→組み合わせ会議事前作業）	1日頃：地区バ切 ↓地区で確認システム作業 20日頃：全日バ切 ↓組み合わせ事前作業	1日：地区バ切 ↓地区で確認システム作業 20日頃：全日バ切 ↓組み合わせ事前作業
8月	2日：組み合わせ会議	↓ 第2週頃：組み合わせ会議	↓ 8日：組み合わせ会議
9月	東西大会 （～9日） 14日頃：地区バ切 18日：全日バ切（→資格確認） 27日：組み合わせ会議	東西大会 地区バ切 中旬：全日バ切 下旬：組み合わせ会議	東日本大会： 西日本大会：9.1～9 13日頃：地区バ切 18日：全日バ切
10月	10～16日：インカレ個人	中旬：インカレ個人	3日：組み合わせ会議 16～22日：インカレ個人
10月	6～9日：大学対抗戦	上旬：大学対抗戦	5～8日：インカレ個人

各地区学連で資格確認を行う（2週間程度）。終了したものを全日に提出する。

- ・選手・監督コーチとも『日バ登録』必須
- ・『3級審判』未取得の選手へは、「未取得のままではインカレ出場権を得てもエントリーできない」旨の注意喚起を行う。

各地区学連で資格確認を行う。終了したものを全日に提出する。

- ・選手は『日バ登録+3級審判』、監督コーチは『日バ登録』必須
- ・未取得者はエントリーを認めない。

【次年度に向け、地区学連にお願いすること】

- ・確認システムの権限を持つ地区学連役員（大人）を決めていただく。
- ・西日本インカレエントリーの際、登録確認すること。さらにインカレはエントリー時点までに3級審判が必須であることを改めて周知。
（その後の流れ）
- ・権限の申請を日バに提出。
- ・年度初めに、使用方法の説明会を実施いたしますので、権限者と学生員の代表者でご参加ください。

一般社団法人全日本学生バドミントン連盟 安全・安心マニュアル

1. 目的

本マニュアルは、当競技団体が主催及び運営する以下の大会（以下、「主催大会」という。）における所属運動部学生の安全を確保するとともに、学生が安心して競技に取り組める環境を整備するために必要な事項を定めることを目的とする。

- a. 全日本学生バドミントン大学対抗戦
- b. 全日本学生バドミントン選手権大会

2. 適用範囲

本マニュアルは、当競技団体に所属する全運動部に適用する。また、本マニュアルは、これらの運動部に所属する全ての者に活用されることを想定している。

3. 体制

所属運動部の学生の安全確保に万全を期すために、当競技団体に以下の者を置く。

- a. リスク管理責任者
主催大会に関するリスク管理全般に責任を有する者としてリスク管理責任者を置く。当競技団体の常務理事をリスク管理責任者とする。
- b. 事故対応責任者
主催大会中に発生した事故に対応するための責任者として事故対応責任者を置く。常務理事を事故対応責任者とする。
- c. 事故対応担当者
主催大会中に事故が発生した際に事故対応責任者の指示を受けて適切な事故対応を行う事故対応担当者を置く。大会救護員および学生委員を事故対応担当者とする。

4. 心構え

主催大会の運営に関わる全ての者は、主催大会が安全に遂行されるよう日頃から必要な事前の対応を施すとともに、主催大会において、万一事故が発生した場合、冷静かつ迅速に対応し、事故の影響を最小限に留めるよう務め、再発防止に万全を期すものとする。

5. 平常時の対応

事前の事故予防活動として以下の対応を実施する。

- a. リスクの洗出し
 - i. リスク管理責任者は、主催大会中に発生する可能性のある事故とそれらの顕在化を防ぐための確認事項等を取りまとめた別紙1「[事故のリスク一覧](#)」の内容を実状に合わせて適宜更新する。
- b. 施設等の点検・改善
 - i. リスク管理責任者は、主催大会の準備に当たっては、大会会場の施設管理者と連携し、別紙2「[施設安全のチェックシート](#)」を用いて施設、設備、用具を点検し、改善の必要な施設、設備等を特定した場合には施設管理者に必要な対応を依頼する。

c. 保険加入

- i. リスク管理責任者は、各主催大会の開催に当たり、公益財団法人日本バドミントン協会が主催大会に出場する運動部の学生及び指導者を対象とした保険に加入していることを確認し、万一、付保されていない場合は、確実に手配する。

d. 研修の実施

- i. リスク管理責任者は、毎年、所属運動部の学生及び指導者の安全管理意識の向上を図るため、所属運動部の学生及び指導者に対し、一般社団法人大学スポーツ協会（以下、「UNIVAS」という。）が開催する安全管理に関するセミナーの聴講を指示する。
- ii. リスク管理責任者は、前項の指示を行う際には、同セミナーのアーカイブ動画が、後日、My UNIVAS（UNIVAS が提供する運動部学生向けの情報プラットフォーム）上に公開されることを紹介するとともに、聴講できなかった学生及び指導者に対し、アーカイブ動画を視聴するよう要請するものとする。

e. 事故情報・事故事例の収集・共有

- i. リスク管理責任者は、毎年2月に過去1年間に開催された主催大会中に発生した事故（救急車を呼んだ場合の事故に限る。）の情報を、各地区学生連盟ならびに全所属運動部に共有する。
- ii. リスク管理責任者は、前項の事故情報の共有の際、別途可能な範囲で収集した、他の競技団体の事故情報及びメディアにて報道された事故情報を併せて共有する。
- iii. 所属運動部の主務は、運動部にてミーティングを行い、前2項により共有された事故情報を用いて全運動部員の安全管理意識の向上を図る。

6. 事故発生後の初動対応

主催大会中に怪我人が発生した場合、事故対応責任者及び事故対応担当者が中心となり（事故対応責任者及び事故対応担当者が、怪我人が発生した現場にいない場合には、現場にいる者で協力して）、怪我のレベルに応じて以下の初動対応を行う。

a. 怪我のレベルに応じた初動対応の実施

怪我人発生

怪我人の状態確認

(怪我人の状態確認は、最悪を想定したうえで対応を行う。)

レベル 1	レベル 2	レベル 3
<ul style="list-style-type: none"> ・歩行可能 ・擦り傷や捻挫など ・意識もしっかりしている 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩けない ・骨折の疑い ・頭、首を受傷した 	<ul style="list-style-type: none"> ・普段通りの呼吸なし ・意識・反応がない ・手足が動かない ・大量出血
応急手当	手当・処置	119番通報
競技復帰が可能かの判断	病院連絡・準備	緊急手当て (AED,止血等)
	関係者への報告	関係者への報告

救急車を呼んだ時に必要な要員と役割！

- ・負傷者に対応する人 (3~4人)
- ・AED、救護資機材を持ってくる人 (1~2人)
- ・記録係 (時系列、情報を紙にまとめる人) (2人)
- ・施設事務所に連絡し救急車を誘導する人 (1~2人)

b. 事故情報の報告

- i. 事故対応責任者及び事故対応担当者 (事故対応責任者及び事故対応担当者がない場合には、怪我人が発生した現場にいる者) は、レベル 2、3 と判断した場合には、怪我人の身体の安全確保 (手当・処置、119番通報、病院連絡・準備、緊急手当て) を行った後、電話・無線機 (インカム) 又は別紙 3「[事故発生報告書](#)」を用いて速やかにリスク管理責任者に状況を報告する。
- ii. 前項の報告を受けたリスク管理責任者は、事故対応責任者及び事故対応担当者 と協力して事故対応を行う。
- iii. リスク管理責任者は、「事故発生報告書」を受領した場合には適切に保管する。

【緊急連絡先】

当連盟事務局の代表電話 (不在の場合は大会役員に転送されるように設定)、もしくは大会本部役員の携帯電話とする (大会前に緊急連絡先として特定し、大会要項、連絡事項等で周知する)。

7. 初動対応後の対応

発生した事故への初動対応が完了した後に、以下の対応を実施する。

- a. 原因究明・再発防止
 - i. 事故対応責任者は、救急車を呼ぶ事故が発生した場合には、当該事故の初動対応が完了した後に、遅滞なく当該事故が発生した原因を特定するとともに、再発させないための防止策を検討し、その結果を[別紙4「事故原因究明・再発防止策検討シート」](#)にとりまとめ、リスク管理責任者に提出する。
 - ii. 前項の検討シートを受領したリスク管理責任者は、その内容を確認し、記載漏れなどがある場合には再提出を求め、記載内容が適切と判断した場合には、その旨を事故対応責任者に回答し、再発防止の徹底を指示する。
 - iii. 前項の回答を受領した事故対応責任者は、関係する所属運動部の学生に再発防止策を周知し、その徹底を指示する。
 - iv. リスク管理責任者は、事故の発生原因が施設に起因するものであった場合には、大会会場の施設管理者に必要な対応を要請する。

8. ハラスメントの防止

ハラスメントの防止活動として以下の対応を実施する。

- a. ハラスメント研修の実施
 - i. リスク管理責任者は、毎年、所属運動部の学生及び指導者に対し、UNIVAS が開催する、ハラスメントに関するコンプライアンス研修の聴講を指示する。
 - ii. リスク管理責任者は、前項の指示を行う際には、同セミナーのアーカイブ動画が、後日、My UNIVAS 上に公開されることを紹介するとともに、聴講できなかった学生及び指導者に対し、アーカイブ動画を視聴するよう指示するものとする。
- b. ハラスメントに関する相談窓口の周知
 - i. リスク管理責任者は、競技団体内に設置されたハラスメントに関する相談窓口を公式ホームページ上にて周知する。また、学外に設置された相談窓口として、所属運動部に[別紙5「UNIVAS 相談窓口のご案内」](#)を配布することにより UNIVAS 相談窓口を紹介する。

9. 本マニュアルの閲覧環境の整備

リスク管理責任者は、所属運動部の指導者及び学生が本マニュアルをいつでも閲覧できるよう、本競技団体のポータルサイト上に本マニュアルの最新版を掲載する。

10. 本マニュアルの改廃

本マニュアルの改廃は、理事会の決裁をもって行う。

(以上)

制定・改廃履歴

2026年1月13日制定

(別紙1)

事故のリスク一覧

[策定・更新日] 年 月 日 [実施者] 役職: 氏名:

プレーに関連する事故	
事故の種類	事故を顕在化させないためのチェックポイント
施設、用具の整備に起因する事故	<input type="checkbox"/> フロアの劣化、滑り具合の確認 <input type="checkbox"/> 安全を確保した用具の準備 <input type="checkbox"/> 用具の破損、危険な突起物の有無の確認 <input type="checkbox"/> 緩み、腐食の確認 <input type="checkbox"/> コートマットを使用する場合、適切な設置の確認
施設・用具の配置に起因する事故	<input type="checkbox"/> 適切な活動人数の考慮 <input type="checkbox"/> 安全な動線の確保(コート周囲の安全な配置) <input type="checkbox"/> コートとコーチ席、フロアシートとの距離の確保 <input type="checkbox"/> コートと先審席、広告看板との距離の確保 <input type="checkbox"/> 良好な環境の確保(照明、遮光、換気など)
健康・身体能力の管理に起因する事故	<input type="checkbox"/> 無理をさせない <input type="checkbox"/> 睡眠不足か <input type="checkbox"/> 不安定な心理状態か <input type="checkbox"/> 心疾患はないか <input type="checkbox"/> 試合、競技を安全に行うためのスキルは十分か <input type="checkbox"/> 試合開始時間・終了時間は適切か
気温環境	<input type="checkbox"/> 空調設備はあるか(特に夏季) <input type="checkbox"/> 熱中症の予防
その他	<input type="checkbox"/> 特に冬季活動時、十分な準備運動を行っているか <input type="checkbox"/> 試合数、試合間隔において無理のないタイムテーブルとなっているか <input type="checkbox"/> 頭のケガの場合、軽微な事故でも注意(影響が後で出る可能性)

施設に起因する事故	
事故の形態	確認事項
転落事故	<input type="checkbox"/> 立入禁止場所の把握、施錠 <input type="checkbox"/> 防護柵の設置 <input type="checkbox"/> 屋上 <input type="checkbox"/> 天窓 <input type="checkbox"/> バルコニー <input type="checkbox"/> 低い手すり <input type="checkbox"/> 窓 <input type="checkbox"/> ひさし <input type="checkbox"/> 吹き抜け <input type="checkbox"/> マンホールの蓋の開放
衝突事故	<input type="checkbox"/> 石、金属の露出 <input type="checkbox"/> 面取りしていない柱 <input type="checkbox"/> 大きなガラス(視認性の確保等)
転倒事故	<input type="checkbox"/> 水濡れ(雨漏り等) <input type="checkbox"/> 床材の剥がれ
挟まれ事故	<input type="checkbox"/> 扉、窓、戸袋等の隙間 <input type="checkbox"/> 防火扉、シャッター <input type="checkbox"/> 門、側溝の蓋 <input type="checkbox"/> その他、開口部
落下物による事故	<input type="checkbox"/> 天井材、外壁材 <input type="checkbox"/> 天井への設置物(照明、テレビ等) <input type="checkbox"/> 書棚等への収容物

(別紙 3)

事故発生報告書 (第 報)

	詳細	
事故発生日時 大会名	年 月 日 () 午前・午後 時 分	
事故発生場所	施設名、発生場所	
事故の内容	事故の詳細、経緯	
事故の経緯 ※「いつ、どこで、 誰が、どうした」を 明記すること	時 分 時 分 時 分 時 分	(事故発生) (発見) (通報)
作成者	(名前) (連絡先)	(所属)
作成日時	年 月 日 () 午前・午後 時 分	

(別紙4)

年 月 日

事故原因究明・再発防止策検討シート

リスク管理責任者 御中

所属

氏名

事故発生日時 大会名	年 月 日 () 午前・午後 時 分
事故発生場所	施設名、発生場所
事故の内容	事故の詳細、経緯
事故の経緯 ※「いつ、どこで、 誰が、どうした」を 明記すること	(事故発生) (発見) (通報)
原因	
再発防止策	
コメント	

(別紙7)



UNIVAS相談窓口は、大学生の皆さんが大学スポーツに健全に取り組むことができる環境を整備するためにUNIVASが設置した相談窓口です。本窓口は、選手や、マネージャー、コーチ等の学生スタッフとして、UNIVASに加盟する大学または競技団体に所属し、大学スポーツに取り組む学生または大学卒業もしくは所属後3年を経過しない皆さん、その親族、指導者及びチームスタッフの方が無料でご利用頂けます。

■相談できる内容について

監督、コーチ、顧問等の指導者、サポートスタッフ、選手などの大学スポーツ関係者が関与する以下の行為について、相談を行うことができます。

- ・暴力、暴言、脅迫及び威圧等、競技の範囲を超えて学生に身体的又は精神的苦痛を与える行為（パワハラ行為）
- ・学生に不快感を与える性的な言動（セクハラ行為）
- ・差別、義務のない行為の強要、試合の不正操作、ドーピング等、大学スポーツにおける正当又は健全な活動を、直接又は間接的に妨害する行為
- ・その他、大学スポーツに関連して行われる違法行為、加盟団体規則違反行為またはそれらに準じる社会規範に照らして不適切な行為

■相談の流れ



UNIVAS 相談窓口へご相談頂く際は、ウェブフォームでご連絡ください。



<https://www.univas.jp/soudan/>



UNIVAS SSC
Safety and Security Certification

UNIVAS SSC 認定証

認証番号 : K0024

会員名

一般社団法人全日本学生バドミントン連盟

所在地

神奈川県横浜市青葉区鴨志田町1221番地1 日本体育大学バドミントン研究室内

貴団体は、UNIVAS安全安心ガイドラインで推奨する取組設定項目につきまして、
認証評価基準を満たしましたので、「UNIVAS SSC」を付与いたします。

初回認証日 : 2026 年 2 月 1 日

更新日 : 年 月 日

有効期限 : 2028 年 3 月 31 日

本登録証の有効性は、当協会までお問い合わせの上、
確認することができます。

一般社団法人 大学スポーツ協会

代表理事 会長 福原 紀彦

東京都千代田区九段北4-2-9

私学会館別館第二ビル3F

2025 年度理事会資料
競技部活動報告

○全日本学生ポイントランキング表調整

- ・ミックスダブルスのみのポイント配点表を用いてランキング表作成。

○組合せ基準変更

団体戦

- ・東西インカレ、全日本学生大学対抗戦の組合せ基準変更。

個人戦

- ・東西インカレのシード数を32シードからポイント保有者全選手に変更。
- ・東西インカレエントリー数320エントリー以上の種目で32シードのスーパーシード採用。1～16シード4回戦スタート、17～32シード3回戦スタート。

○ワールドユニバーシティゲームズ（2025／ライン・ルール）選手派遣。

- ・FISU ワールドユニバーシティゲームズ（2025／ライン・ルール）強化練習会及び派遣手続き

日程：2025年5月18日～19日

場所：練習：NTT 東日本中央研修センター体育館

メディカルチェック：JISS クリニック

メンバー：スタッフ2名、男子選手9名、女子選手9名

- ・FISU ワールドユニバーシティゲームズ（2025／ライン・ルール）直前合宿

日程：2025年7月9日～12日

場所：味の素ナショナルトレーニングセンター

メンバー：スタッフ2名、男子選手6名、女子選手6名

- ・FISU ワールドユニバーシティゲームズ（2025／ライン・ルール）

日程：2025年7月12日～29日

場所：ドイツ（ライン・ルール）

メンバー：スタッフ2名、男子選手6名、女子選手6名

結果：混合団体戦5位、男子シングルス銅メダル、女子ダブルス銅メダル

○全日本総合大会直前合宿

日程：2025年12月21日～24日

場所：味の素ナショナルトレーニング

メンバー：スタッフ9名（入替り有）、男子選手14名、女子選手13名

○全日本学生バスケットボール大会視察

日程：2025年12月13日

場所：大田区総合体育館

メンバー：教員2名、各地区学連2名ずつ計12名（北海道、関東、関西、中部、中四国、九州）

2025 年度理事会資料（競技部）

○組合せ基準について

① 別添資料「全日本関係大会組み合わせ基準（2026 年度）」参照

- ・東西インカレの結果を基に、東西毎に 1～8 位まで大学ランキング表を作成する。
東西インカレの結果で 3～4、5～8 に入った地区で抽選を行う。**同じ区分において同地区の場合、抽選ではなく地区大学ランキング表を優先しあてはめる。**

○2 級審判資格取得について

② 別添資料「2 級審判資格について」参照

③ 別添資料「審判回数入力ファイル」参照

○選手の 3 級審判資格について

- ・東西インカレは全日本インカレの予選会と位置付けられております。全日本インカレに出場するにあたりルールを熟知する事は必須で、全日本インカレの出場資格にある 3 級審判資格を東西インカレに出場する選手は取得する事が望ましいとと考える。それに伴い今後は東西インカレでも 3 級審判資格を有しているかを確認する。
- ・ 3 級審判資格 2 年生～4 年生必須
1 年生猶予期間（全日本インカレは必須）
2026 年度は案内期間とし、**東西インカレの 3 級審判資格保有者の状況次第で 2027 年度から上記を施行する。**

○大会開催について

- ・東西インカレ 8 月第 4 週土曜日スタート（準備日含め 10 日間）
開始：8 月 21 日～27 日 終了：8 月 29 日～9 月 4 日
- ・全日本インカレ 10 月 3 週日火曜日スタート（準備日含め 7 日間）
- ・全日本大学対抗戦 11 月 2 週日金曜日スタート（準備日含め 4 日間）

※全日本インカレ、全日本大学対抗戦は前後 1 週間で考える

☆開催地

- ・東日本インカレ 北海道学連・東北学連
- ・西日本インカレ 九州学連・中四国学連
- ・全日本インカレ 関西学連・中部学連
- ・全日本大学対抗戦 関東学連

※2026 年を調整期間とし、2028 年からスタート

- | | | | | |
|--------|---------|---------|-------|----------|
| 2026 年 | 東日本：北海道 | 西日本：中四国 | 個人：中部 | 大学対抗戦：関西 |
| 2027 年 | 東日本：東北 | 西日本：九州 | 個人：関西 | 大学対抗戦：関東 |
| 2028 年 | 東日本：北海道 | 西日本：中四国 | 個人：中部 | 大学対抗戦：関東 |

○エントリー締め切りから組合せ会議までの流れについて

大会開催日 ← 2 週間前組合せ会議 ← 更に 2 週間前からエントリー確認修正学生ランキング作成（エントリー締め切り→エントリー名簿・エントリー学生ランキング作成 3 日間→エントリー各大学確認 5 日間→不備修正→再度確認 3 日間→組合せ会議） ← 大会開催日 4 週間前エントリー締め切り

○今後の全日本学生大学対抗戦について（団体戦の運営、進行について）

④ 別添資料「今後の大学対抗戦について」参照

⑤ 別添資料「ウェア規定」

○2026 アジア大学選手権大会について

⑥ 別添資料「2026 AUC_BMD_bulletin NO.1」参照

⑦ 別添資料「2026AUC_BMD_Entry forms」参照

⑧ 別添資料「2026年アジア学生大会詳細」参照

⑨ 別添資料「2025年全日本学生バドミントン選手権大会上位」参照

・2026 アジア大学バドミントン選手権大会

大会期間：2026年6月10日～14日

開催場所：台北（チャイニーズ・タイペイ）

派遣期間：2026年6月8日～15日

派遣メンバー：スタッフ最大3名、男女最大6名ずつ

（男女混合団体、男女シングルス3、男女ダブルス3、混合ダブルス3）

男子シングルス 山田琉碧（日本体育大学2年）

藤原睦月（明治大学4年）

男子ダブルス 櫻井煌介（法政大学4年）

南本和也（法政大学4年）

女子シングルス 横内美音（筑波大学2年）

今泉明日香（日本体育大学3年）

女子ダブルス 牧野美涼（法政大学3年）

上野凜（法政大学2年）

混合ダブルス 犬嶋宏介（日本体育大学4年）

今村涼（青山学院大学4年）

残り男女1名ずつ 安保武輝（筑波大学4年）

玉木亜弥（筑波大学2年）

スタッフ 大東忠司（日本体育大学）、升佑二郎（法政大学）、吹田真士（筑波大学）、古財和輝（龍谷大学）、有吉晃平（大阪体育大学）

○今後の国際大会のメンバー

・今後の国際大会に派遣するメンバーは在学生のみとする。

全日本学生バドミントン大学対抗戦 組み合わせ基準

令和 年 月 日
全日本学生バドミントン連盟

全日本学生バドミントン大学対抗戦は、現行の公益財団法人日本バドミントン協会大会運営規定第5章第28条～32条を適用し、シード決めは次の通りとする。

○出場資格

・32校

本戦：16校：東日本インカレ8校・西日本インカレ8校

推薦：16校：各3校（関東・関西）・各2校（北海道・東北・中部・中四国・九州）

1. 東西インカレの結果を基に、東西毎に1～8位まで大学ランキング表を作成する。

東西インカレの結果で3～4、5～8に入った地区で抽選を行う。同じ区分において同地区の場合、抽選ではなく地区大学ランキング表を優先しあてはめる。

2. 前回本大会の結果を基に、1～16位のシード順（地区枠）を作成する。

・3～4、5～8、9～16に入った東西地区の数でシード順の抽選を行う。抽選結果を基に東西毎の大学ランキング表であてはめる。

（例①）前回本大会の結果が、

1位 A大学（東日本）

2位 B大学（西日本）

3位 C大学（東日本）

4位 D大学（東日本）

の場合、シードは本年度東西インカレ結果の以下の通りとする。

1位（第一シード）東日本1位

2位（第二シード）西日本1位

3位（第三シード）東日本2位

4位（第四シード）東日本3位

・先に東西どちらかが8校うまった場合は、残りの地区ですべてあてはめる。

（例②）前回本大会の結果で、片方の地区がベスト16に9校以上入った場合、本戦出場の8校があてはめられた時点で、その後は他方の地区8校をあてはめる。

3. 各地区から推薦により出場している大学のうち、各地区下位9校（関東・関西：各下位2校、北海道・東北・中部・中四国・九州：各下位1校）から抽選により8校を8シード下

に順次入れる。

4. 以降自動抽選

※原則抽選後は変更しない

★前回大会と同一初回戦は避ける

- ・同一初回戦が8シード下の場合、シードに入った大学を一つ上のシードに入っている大学と入替える。
- ・シード下以外の場合は、同じブロックのシード以外の大学と入替える。

【組合せ会議までの準備】

- 東西インカレの主管学連は、東西インカレ後結果と各地区大学ランキング表を学連共有ドライブに速やかに提出する。
- 組合せ会議時に必要な抽選の準備を行う。

全日本学生バドミントン選手権大会 組み合わせ基準

令和 年 月 日
全日本学生バドミントン連盟

【男女シングルス・男女ダブルス・混合ダブルス】

○出場資格

- ・ 前回本大会ベスト 8 以内（男女ダブルス、混合ダブルスは同ペアのみ）
- ・ 日本学生ランキング 8 位以内（東西インカレエントリー時のランキング表）（男女ダブルス、混合ダブルスはそのペアで東西インカレに出場した場合のみ）
- ・ 96 名（ペア）

本戦：東日本インカレ 32 名・西日本インカレ 32 名

推薦：東日本 16 名（北海道 3 名、東北 3 名、関東 10 名）

：西日本 16 名（中部 4 名、関西 6 名、中四国 3 名、九州 3 名）

※男女ダブルスは同大学でのペアリングのみ出場可とする。

※混合ダブルスは地区大会は同大学、同地区の他大学、また、東西インカレは東日本は東日本内、西日本は西日本内の他大学とのペアリングで出場可とする。（地区推薦でインカレに出場する資格を得た場合は、男女ダブルス、混合ダブルスはそのペアで東西インカレに出場した場合のみインカレ出場可。ペアが変わった場合は、地区推薦無効）

（例）地区大会 A さん・B さんのペアリングで優勝（地区推薦対象）

東西インカレ A さん・C さんのペアリングでエントリー（A さん・B さんのペアリングでの地区推薦無効。インカレ出場不可）

1. 次の①により、1～32 までシードする。

①東日本・西日本学生バドミントン選手権大会後にポイント計算された全日本学生バドミントン連盟の日本学生ランキングにより 1～32 までシードにあてはめていく。同ポイントの場合は抽選によりシードを決める。（32 シードで同ポイント抽選の場合は 32 以降もシードする）

※日本学生ランキングでシードが埋まらない場合は、以降自動抽選とする。

2. 各地区から推薦により出場している選手のうち、各地区の推薦人数の比率を基に、下位から 16 名（関東 6 名、関西 4 名、中部 2 名、北海道 1 名、東北 1 名、中四国 1 名、九州 1 名）を選出し、第 1 シードから第 8 シードのシード下に入れる。シード下の位置は抽選により決める。同地区の初回戦は避ける。

3. 以降自動抽選

※原則抽選後は変更しない。

※ポイントランキング制によるシード以外の選手については、所属バランスとダブルスパークトナーの分離については、ソフト上で配慮されている。

★東西インカレにエントリーした種目、ペアのみインカレに出場可

★前回大会と同一初回戦、**同校初回戦**は避ける

・上記初回戦があった場合は、同じブロックの近くの同地区選手と入替を行う。

【組合せ会議までの準備】

○各地区学連は、地区大会終了後速やかに大会結果を**学連共有ドライブ**に提出する。

○東西インカレ主管学連は、東西インカレ終了後速やかに大会結果を**学連共有ドライブ**に提出する。

○インカレ主管学連は、エントリー締め切り後、アサミ大会運営ソフトに入力されたエントリー名簿と学生ランキング表を作成する。作成後、全日本学連のホームページにアップし、エントリーした大学にエントリー漏れとポイント漏れ、名前間違いがないか確認してもらう。修正がある場合は、各地区学連ごとにまとめ期限までに修正を行う。

○インカレ主管学連は、アサミ大会運営ソフトで作成された日本学生ランキング表を基に32シードまでに抽選が必要か確認を行う。抽選が必要な場合は、組合せ会議時に抽選ができるよう準備を行う。

東日本・西日本学生バドミントン選手権大会 組み合わせ基準

令和 年 月 日
全日本学生バドミントン連盟

東日本・西日本学生バドミントン選手権大会は、現行の公益財団法人日本バドミントン協会大会運営規定第5章第28条～32条を適用し、シードは団体戦・個人戦それぞれ次の通りとする。

【団体戦の組み合わせ基準】

1. 各地区大学ランキング表16位までを提出してもらう。
2. 前回本大会の結果を基に、1～16位のシード順（地区枠）を作成する。
3～4、5～8、9～16に入った各地区の数でシード順の抽選を行う。抽選結果を基に各地区の大学ランキング表であてはめる。

（例）前回本大会の結果が、

- 1位 A大学（関西）
- 2位 B大学（中部）
- 3位 C大学（関西）
- 4位 D大学（九州）

の場合、シードは本年度各地区大学ランキング表の通りとする。

- 1位（第一シード） 関西1位
- 2位（第二シード） 中部1位
- 3位（第三シード） 関西2位
- 4位（第四シード） 九州1位

2. 以降自動抽選

※原則抽選後は変更しない。

★前回大会と同一初回戦は避ける

- ・同一初回戦があった場合は、同ブロック内の多い地区と入替えを行う。

【組合せ会議までの準備】

○各地区学連は、各地区の大学ランキング表を学連共有ドライブに提出する。

★東西インカレ双方とも3位決定戦が実施可能な場合に限り、3位決定戦を行う。

【個人戦の組合せ基準】

1. 次の①によりシードする。

①東西インカレエントリー後の全日本学生バドミントン連盟の日本学生ランキングによりポイント保有者全員をシードにあてはめていく。同ポイントの場合は抽選によりシードを決める。

2. 以降自動抽選

※原則抽選後は変更しない。

★エントリー数が320以上の種目では、ベスト32にスーパーシードを適用する。

★男女ダブルスは同大学でのペアリングのみ出場可とする。

★混合ダブルスは同大学、同地区の他大学、また、東日本は東日本内、西日本は西日本内の他大学とのペアリングで出場可とする。

★前回大会と同一初回戦、**同校初回戦**は避ける

・上記対戦があった場合は、同じブロックの近くの同地区選手と入替を行う。

【組合せ会議までの準備】

○各地区学連は、地区大会終了後速やかに大会結果を学連共有ドライブに提出する。

○東西インカレ主管学連は、エントリー締め切り後、アサミ大会運営ソフトに入力されたエントリー名簿と学生ランキング表を作成する。作成後、全日本学連のホームページにアップし、エントリーした大学にエントリー漏れとポイント漏れ、名前間違いがないか確認してもらう。修正がある場合は、各地区学連ごとにまとめ期限までに修正を行う。

○東西インカレ主管学連は、アサミ大会運営ソフトで作成された日本学生ランキング表を基にポイント保有者においてシード抽選が必要か確認を行う。抽選が必要な場合は、組合せ会議時に抽選ができるよう準備を行う。

日本学生ランキングについて

令和7年4月16日
全日本学生バドミントン連盟

日本学生ランキング表を下記日本ランキング配点表にて作成し、地区大会、東西インカレ、全日本インカレに用いシード決めを行う。

日本学生ランキング配点表

100% (前回大会)						
	優勝	準優勝	ベスト4	ベスト8	ベスト16	ベスト32
全国選抜	150	100	50	20		
インターハイ	200	150	100	50		
地区選手権	100	80	60	40	20	
東西インカレ	300	250	200	150	100	50
インカレ	600	500	400	300	200	100
全日本総合	1000	800	600	300	100	
ランキングサーキット	700	500	300	100	50	

80% (前々回大会)						
	優勝	準優勝	ベスト4	ベスト8	ベスト16	ベスト32
全国選抜	120	80	40	16		
インターハイ	160	120	80	40		
地区選手権	80	64	48	32	16	
東西インカレ	240	200	160	120	80	40
インカレ	480	400	320	240	160	80
全日本総合	800	640	480	240	80	
ランキングサーキット	560	400	240	80	40	

- 過去2年間の大会結果を点数化し、直近大会を100%、前々回大会を80%で配点し、ランキング表を作成する。
- 全国選抜とインターハイは得点が高いものを採用する。(混合ダブルスの場合は、シングルス、ダブルスのどちらか良い方を配点する)
 - (例) インターハイ シングルス3位(80点)、ダブルス準優勝(120点)
 - 全国選抜 シングルス準優勝(80点)、ダブルスベスト8(40点)
 - インターハイ ダブルス準優勝(120点)を採用

- 日本学生ランキング表（個人ポイント）を地区選手権大会後、東西インカレ後の8月、全日本インカレ、全日本総合後の1月に公表する。
- 地区選手権大会、東西インカレ、全日本インカレのエントリー締め切り後、エントリー選手のみ日本学生ランキング表を作成し組合せ会議まで公表し該当選手に確認をもらう。
- 地区選手権大会、東西インカレ、全日本インカレにおいて日本代表活動で不参加の場合は、エントリー選手のみで作成された日本学生ランキング相応の点数は配点する。

2 級審判資格について。

《受験資格》

- ①日本協会主催の第1種大会またはそれに準ずる地区大会において5大会70試合以上の実務を経験した者
 - ・1種大会に準ずる大会であれば主審をする事で実績として登録できる。
(全日本インカレ、全日本学生大学対抗戦、東西インカレ、地区大会、地区リーグ戦)
 - ・主審の実績については、所属県協会に報告し登録をしてもらう。
 - ② 3級審判資格取得後2年以上経過した者
- 上記①②どちらかをクリアした際、所属している県協会で開催される2級審判資格検定を受講する。

① について

- ・各地区に審判担当の大人を配置する。
- ・地区大会ごとに審判実績の書類を作成し所属県協会に提出する。
- ・東西インカレ、全日本インカレ、全日本大学対抗戦の審判実績の書類を作成し所属県協会に提出する。
- ・大会の事前に所属県協会に登録してもらえるか確認する。

今後の大学対抗戦について

○目指す大会

選手一人ひとりの価値を高めること、そして大会そのものの価値を高めることを大切にす。あわせて、より多くの方々にバドミントンの魅力を知っていただき、より多くの観客の皆様に、選手が躍動する姿をご覧いただける大会の実現を目指す。

<来年度取り入れたい項目>

- ・入退場を選手と一般で区別し、選手待機所、選手席を作り、選手と一般客の分離を行う。
 - ・入場時一般客に案内しファン投票の実施。受付の際にファン投票用紙等を配布し、グループフォームまたは投票箱で集計する。
 - ・運営 T シャツを作成し、選手と運営側を差別化する。
 - ・パンフレットに選手の顔写真を載せ、一般のお客さんにも選手が明確に分かるようにし、受付にて販売していく。
 - ・選手の記念 T シャツを廃止し、選手には顔写真の載ったパンフレットを配る。
 - ・背番号の導入
 - 観戦の人が分かりやすいようにユニホームに背番号を入れる。(番号はパンフレットにも記載し、どの選手かを結びつける)
 - 背番号は、(公財)日本バドミントン協会競技規則により、文字列の下中央部に表示するものとし、大きさは高さ15cm以内、一桁横7cm以内とし二桁以内(1番～99番)とする。
 - 背番号は明瞭な数字(算用数字)を使用し、数字の色は上衣背面の文字列、背番号表示部分の色と明確に区別できる色とする。
 - ・ベンチについて登録できる選手数を14名に増やし、エントリー時に顔写真を提出してもらう。
 - ・常に試合は2面展開で行い、ベンチには部長、監督、コーチ、主務、主将、登録選手14名が座れるようにする。(各コートコーチ席2席、ベンチ10席でトータル24席)
 - ・各コート上にチーム応援席を設置する。
 - ・ベンチ、ベンチ以外の応援ルールを作成する。
- ★ (ベンチ)
- 集団での応援はラリーで勝った方のみ応援可能。
 - ラリーが終わった直後は立ち上がって応援しても良いがコート内には入らない。ラリーが始まる前に着席する。(ただし、勝敗が決定した瞬間はその限りではない)
 - 応援グッズ使用不可。鳴り物は拍手のみ。
- ★ (ベンチ以外各大学応援席)
- 各コート各大学応援席を作る。
 - 集団での応援はラリーで勝った方のみ応援可能。常に着席での応援。
 - 応援グッズは、スティックバルーン、うちわは使用可能。それ以外不可。
 - ・コートへの入退場は、事前に選手は待機所に集まりコールとともにまとまって入場。退場も主審先導でまとまって退場する。

《今後追加事項》

- ・有料チケット制にしていく。外注し事前チケット販売を行う。
- ・特別指定席、一般自由席等席を区別する。
- ・ミックスゾーンを作り取材等を管理する。
- ・表彰台を準備する。
- ・メダルを14個にする。
- ・MVP（スポンサー賞）、ファン投票賞等他の賞を作る。

令和7年1月22日

各 位

公益財団法人日本バドミントン協会
事業本部長 大野 淳

大会運営規程 第24条 (1) ①の改訂について

平素より、本会の諸事業とりわけ第1種大会の運営と発展に対し、各別のご理解とご協力をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、本会では令和6年4月1日に大会運営規程第24条を改訂、また、2024年8月13日付にて一部規程を改訂し、大会運用を実施しております。

この度、背面上部文字列の規程（大会運営規程第24条（1）①）について、チーム名、スポンサー名に企業ロゴフォントが使用されているとの指摘があり、調査してまいりました。調査により多くのチームが文字ではない企業ロゴフォントを使用していることがわかりました。

この事実を踏まえ、当会にて協議した結果、大会運営規程第24条を改訂し、背面上部3箇所（文字列最下段）に限り、広告帯を認めることとし、企業ロゴフォントの使用が出来るように致します。これは、当会パーパスビジョンの理念に則り、競技の普及に寄与する方策の一助となります。

今後とも背面表示の目的等の周知をはかり、審判員や多くの観客にとって、迅速かつ明確によりわかりやすい表示方法を継続して検討していきます。皆様におかれましては、関係各位への周知徹底をよろしくお願いいたします。

（改訂内容）

（旧） 第24条（1）ウェア（上衣）の背面には、上部より3箇所までの文字列の表示と、中央部に背番号の表示、下部に広告帯の表示を認める。なお、文字列と背番号の色は単一色ですべて同色とする。

- ① 文字列各行の大きさは、それぞれ高さ6cm～10cm、横30cm以内とし、プレーヤー名、チーム名、スポンサー名、都道府県名等を水平表示するものとする。ただし、プレーヤー名とチーム名など、異なる項目を同一箇所に表示することはできない。また、文字列にはロゴを含まないものとする。

（新）第24条（1）

- ① 文字列各行の大きさは、それぞれ高さ6cm～10cm、横30cm以内とし、プレーヤー名、チーム名、スポンサー名、都道府県名等を水平表示するものとする。ただし、プレーヤー名とチーム名など、異なる項目を同一箇所に表示することはできない。また、文字列にはロゴを含まないものとする。**ただし、当該最大3箇所のうち最下段には広告帯の表示を認める。広告帯の表示は、チーム名、スポンサー名や広告のいずれかを表示できる。（広告帯にはチーム名、スポンサー名、広告に連動したロゴを含めてもよい。）**また、広告帯は装飾文字を使用してもよく単色と限定しない。

以上

大会運営規程 第24条解説

条文

(1)

ウェア（上衣）の背面には、上部より3箇所までの文字列の表示と、中央部に背番号の表示、下部に広告帯の表示を認める。なお、文字列と背番号の色は単一色ですべて同色とする。



背面上部には3箇所までの文字列と背番号を単一色で表示できる。
背面下部には、広告帯を表示できる。

大会運営規程 第24条解説

文字列各行の大きさは、高さ6cm～10cm、横30cm以内とし、各行には、プレイヤー名、チーム名、スポンサー名、都道府県名等を水平表示するものとする。ただしプレイヤー名とチーム名など、異なる項目を同一行に表示することはできない。また、文字列にはロゴを含まないものとする。ただし、当該最大3箇所のうち最下段には広告帯の表示を認める。広告帯の表示は、チーム名、スポンサー名や広告のいずれかを表示できる。(広告帯にはチーム名、スポンサー名、広告に連動したロゴを含めてもよい。) また、広告帯は装飾文字を使用してもよく単色と限定しない。

条文
(1)
①



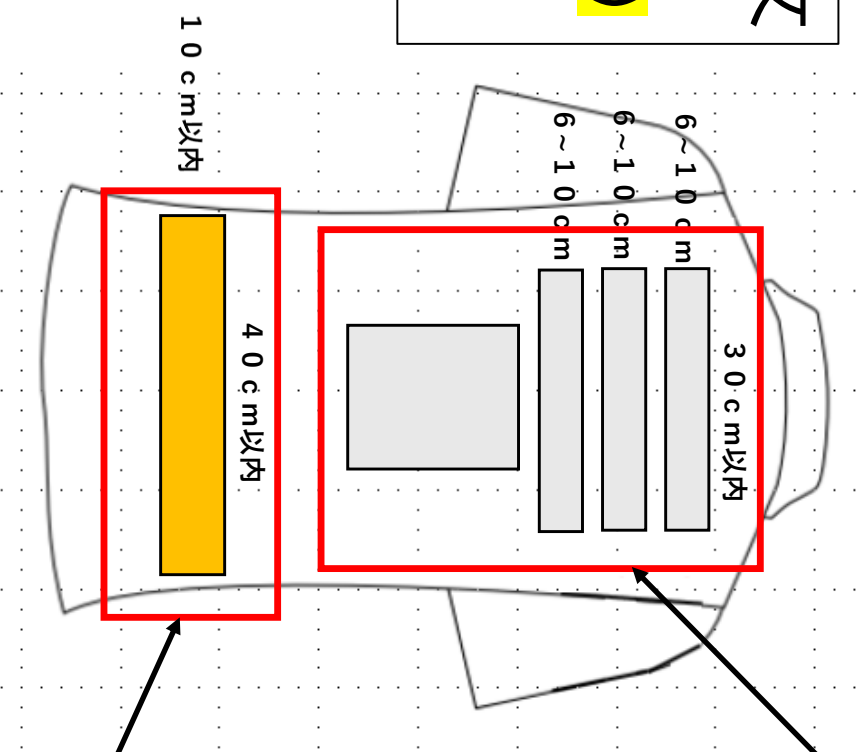
注意

文字列の大きさととは、着用時の大きさを指す。着用時に文字が伸びてしまったら…NG

文字列の大きさ、表示内容、表示方法を規定

大会運営規程 第24条解説

条文
(1)

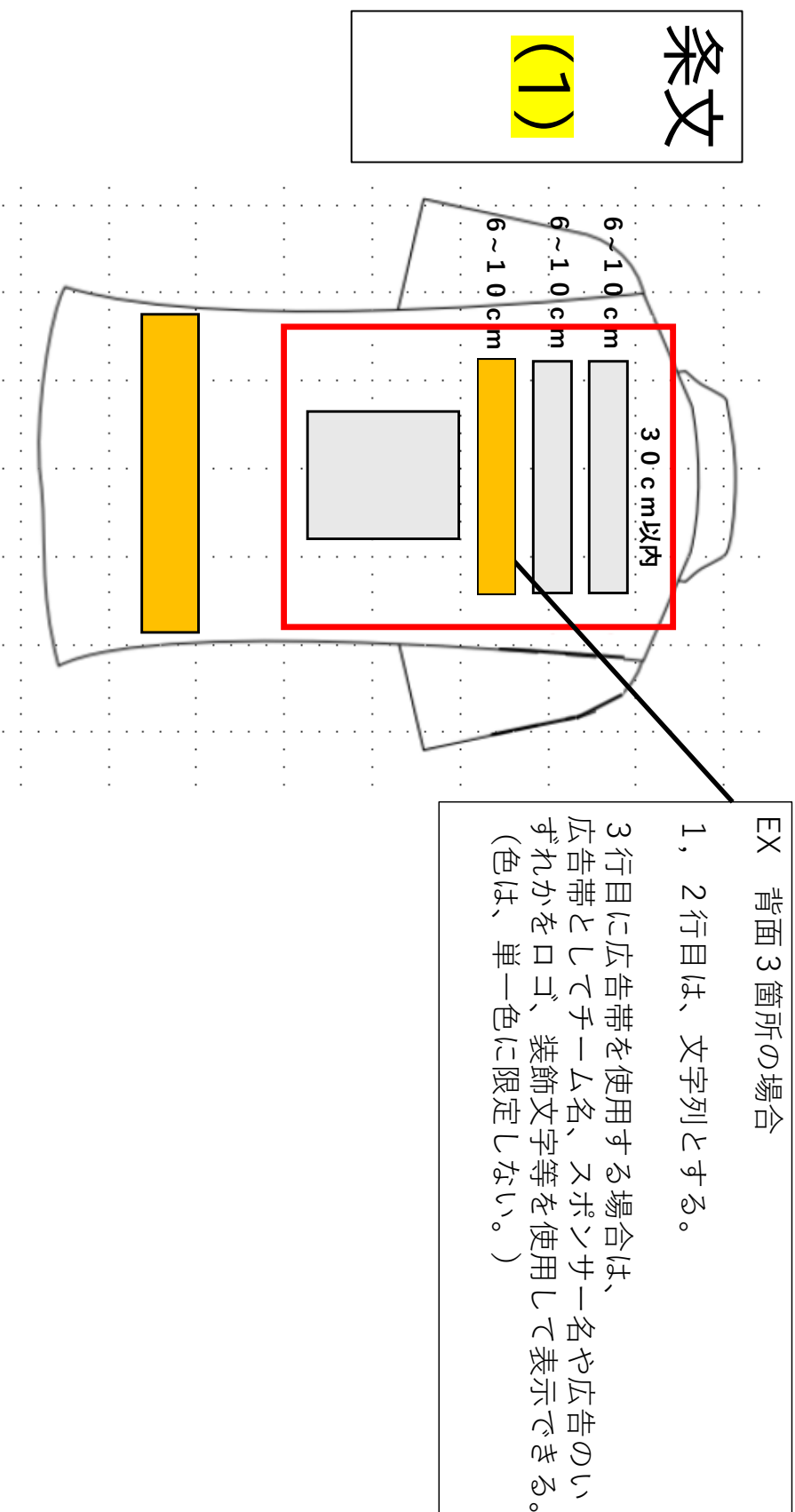


・背面上部3箇所の文字列と背番号

こちらのスペースは、**選手の情報**を正しく表示する部分です。よって、**視認性高い文字、大きさ、色にて作成**いただき、**観客席から見た場合でも**選
手情報が**明瞭に視認**できるように表示して下さい。
以上の目的のため、**視認性の高い文字のみ**の表示
とし、**企業ロゴマークは禁止**としています。
ただし、**最大3箇所のうち最下段については、広告帯の表示が認められるようになり**ました。

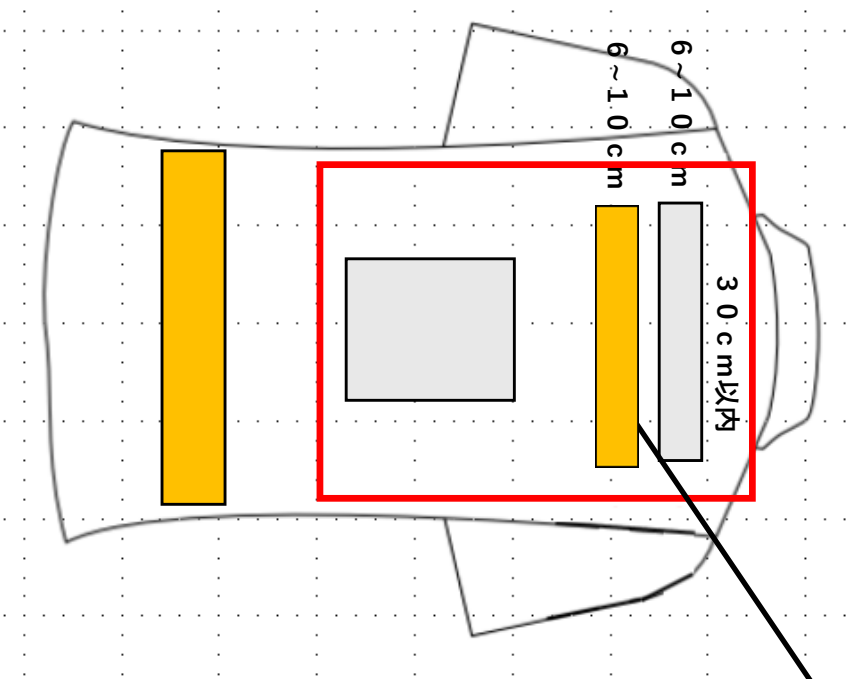
・**広告帯**：裾部分に1行の**広告帯表示**を認める。
こちらは、**範囲内の大きさ**ならば、**チーム名、スポンサー名**や**広告のいずれか**を**ロゴ、色、装飾文字**を用いて表示できる。

大会運営規程 第24条解説



大会運営規程 第24条解説

条文
(1)

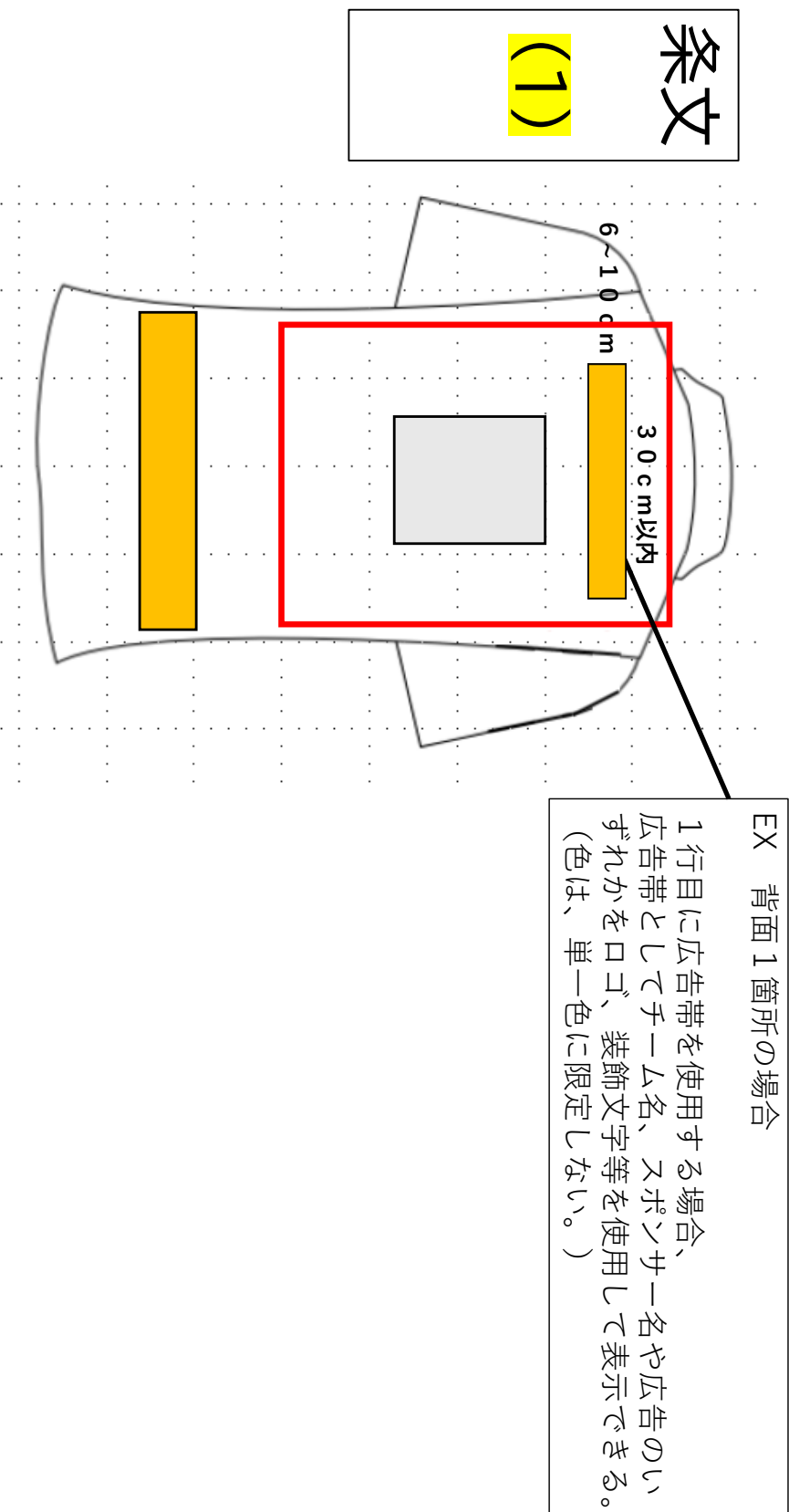


EX 背面 2箇所の場合

1行目は、文字列とする。

2行目に広告帯を使用する場合、
広告帯としてチーム名、スポンサー名や広告のい
ずれかをロゴ、装飾文字等を使用して表示できる。
(色は、単一色に限定しない。)

大会運営規程 第24条解説



大会運営規程 第24条まとめ (背面)

条文
(1)

30cm以内

6~10cm

6~10cm

6~10cm

40cm以内

10cm以内

背番号 2桁以内
縦15cm以内 1桁横7cm以内 含キャプテンマーク

各行にプレイヤー名、チーム名、スポンサー名、都道府県名等を**水平表示**、**単一色**、**明確に識別できる色**
 ・異なる項目を同一行に表示出来ない
 ・一行の大きさを同一行に高さ6cm~10cm 横30cm以内
 ・一行に表示できない場合は複数行になってもよい
 ・最大3箇所うち最下段に、広告帯を表示できる(色は単一色に限定しない)

広告帯
 ・高さ10cm横40cm以内
 ・チーム名、スポンサー名や広告のいずれかを用いて表示できる(色は単一色と限定しない)

斜め表示 ×
R表示 ×

文字列には
多色使用 ×

識別不可 ×



2026 ASIAN UNIVERSITY BADMINTON CHAMPIONSHIP

June 10-14, 2026
Taipei, Chinese Taipei

2026 Asian University Badminton Championship



Bulletin NO.1

Provisional Program

Date	Event
8 June	Arrival and Accreditation Official Training
9 June	Arrival and Accreditation Official Training 1st General Technical Meeting
10 June	Opening Ceremony, followed by Team Competitions
11 June	Finals for Team Competitions Award Ceremony 2 nd General Technical Meeting
12 to 13 June	Individual Competitions
14 June	Finals for Individual Competitions Award Ceremony following by Closing Ceremony
15 June	Departure

General Terms

The competitions shall be organized in accordance with the most recent technical regulation of the Badminton World Federation (BWF). In any dispute the English text shall be regarded as authoritative.

The program and duration of the competitions have been decided by the AUSF Executive Committee in agreement with the Organizing Committee. In principle, the program will last five days and will include the following events:

a. Individual Events

Men	Women
Single	Single
Double	Double
Mixed Double	

b. Mixed Team Events

Men	Women
8-team tournament	

Each country/region is authorized to enter one team which is composed of a maximum of six (6) athletes in each gender as the follows and enter three (3) officials in maximum.

a) Individual Events:

	Men	Women
Single	3 players	3 players
Double	3 pairs	3 pairs
Mixed Double	3 pairs	

No player may enter more than two individual events, for example, one singles, and one doubles, or two doubles.

b) Mixed Team Events:

	Men	Women	Team
Minimum	2 players	2 players	1 Team
Maximum	6 players	6 players	

To prevent the injuries, a minimum of 3 men and 3 women is recommended.

No players shall play in more than two matches of each tie. During the group stage, all five matches of each tie shall be played. During the elimination stage, each tie shall be stopped when the result of the tie has been decided.

Each tie will consist of 1 men's singles, 1 women's singles and 1 mixed doubles.

Eligibility

All athletes must satisfy the following conditions:

- a) Be at least 17 and less than 28 years of age on January 1st 2026, which means eligible athletes must be born between January 1, 1998, and December 31, 2008.
- b) Be a student who is currently officially registered as proceeding towards a degree or diploma at a university or similar institute whose status is recognized by the appropriate academic authority of his/her country(region).
- c) Former students of the institutions mentioned in **b)** who have obtained their academic degree or diploma in the year preceding the event.
- d) Must hold a current passport of the country/region he/she represents, unless he/she is an international student.
- e) An international student must hold a current passport of the country/region he/she comes from as well as the student ID card.
- f) International student may participate but their numbers must be capped at 20% of the registered team.

a. Registration Fee (be collected by AUSF)

AUSF Member	USD 10 per person
Non-AUSF Member	USD 20 per person

b. Participation Fee (be collected by OC)

USD 60	per person per night
USD 150	per extra-official per night

* If a participating team registers more than the limited number of officials, the additional persons will be regarded as extra-officials.

* OC is NOT responsible for delegation who arrive before 8th June and/or depart after 15th June.

Deadline for Entries

General Entry	10 th December 2025
Quantitative Entry	
Deposit (50% participation fee)	10 th March 2026
ITO Nomination Entry	
Remain 50% Participation Fee	
Individual Entry	10 th May 2026
Eligibility and Travel Information	

*Passport must have a validity of at least 6 months after the return trip.

*Passport, original individual entry form and academic eligibility form should be brought to Chinese Taipei for accreditation purpose.

Insurance

AUSF and OC shall not be responsible for any claim or loss, injury or damage arising from the holding of this championship.

All participating country/region must have their appropriate insurance to cover travel and participation as these are not the responsibility of OC and AUSF.

Doping Control

Doping control will be conducted during the competition according to the latest AUSF Anti-Doping Rules. If competitor is following a course of medical treatment, he/she must obtain the certification (TUE) to that effect and inform OC immediately upon arrival. Selected athletes may be accompanied by a team official during doping control procedures.

Accommodation and Transportation

A nearby designated hotel of international standard will be arranged by the OC to accommodate officials, athletes, as well as AUSF families and technical officials. Detailed hotel information will be provided once confirmed. The OC will also be responsible for local transportation between the official entry points and the designated hotel.

AUSF Help Program

The AUSF Help Program is formulated to provide financial support to AUSF active members representing countries/regions with per capita USD 3,500 or less according to the latest figures provided by World Bank (<https://reurl.cc/R6ybYz>) to enable them

to send their student-athletes and/or officials to participate in the AUC. The specific regulation could be found attached.

For 2026 AUC Badminton, AUSF members/ NUSFs for the Help Program should pay attention to the following timelines:

- The application form should be submitted to AUSF before 22nd December, 2025;
- All forms will be evaluated from 22nd December, 2025 to 22nd January, 2026
- NUSFs selected for the Help Programs should submit personal information of athletes (passport copies, pictures, academic eligibility forms, declarations, together with sports event participation proof) by 10th March, 2026
- Help program report from the participants/NUSFs must be submitted to AUSF within 1 month after the event
- AUSF will only reimburse to the NUSF the amount approved after receiving the final report from the NUSF.
- All applications should be submitted to ausf@ausf.org

Official Entry Point:

Taoyuan International Airport (airport code: TPE)
Songshan International Airport (airport code: TSA)

Visa

For delegations requiring visa support, please contact OC at least **3** months before the event. Should you have any query or need visa invitation, please do not hesitate to contact with OC.

Bank Info

Beneficiary Account	Chinese Taipei University Sports Federation
Name of the bank	Taiwan Cooperative Bank, Taipei Branch
Address of the bank	No. 55, Fu-Hsing N. Road, Taipei 105, Taiwan
Account No.	0540-717-155895
SWIFT	TACBTWTP054
Telex	17176, 23749, TACBID
Tel	+886-2-27724277
Fax	+886-2-27518019

Contact

Organizing Committee of 2026 Asian University Badminton Championship
Chinese Taipei University Sports Federation
Address: 13F, 20 Zhulun Street, Taipei 10489, Taiwan
Tel: +886-2-771-0300
Fax: +886-2-771-0305
Email: ctusf61@mail.ctusf.org.tw



**2026 Asian University Badminton Championship
Taipei, Chinese Taipei, 10th -14th June, 2026
General Entry Form**

Revised on : _____

Country/Region : Japan

Country/Region Code : JPN

*** National University Sports Federation – NUSF**

Name of the NUSF	Japanese University Sports Board (JUSB)		
Address	13F, Japan Sport Olympic Square, 4-2 Kasumigaoka-machi, Shinjuku-ku		
City	Tokyo, Japan	Postal Code	160-0013
Telephones	#1. +81-3-6910-5956	#2.	
Tele fax		E-mail	jpn-noc@joc.or.jp

*In case of non-affiliation to AUSF, the National Olympic Committee or similar national organization which groups together the students of that country/region.

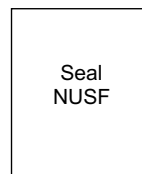
Contact Person

Family Name	Nishi		
Given Name	Yuko		
Function	Secretariat		
Telephones	Office/ Bureau	Mobile	
Tele fax		E-mail	nisyuko@badminton.or.jp

Entry to be submitted online no later than (dd/mm/yy) 10/12/2025

Name and Signature of the President or Secretary General of the NUSF / or the NSF Representative
(only for non-member associations)

Name	Function
SUZUKI Daichi	Chair of JUSB
Signature	Date



Entries arriving after the expiration of the required deadlines will not be taken into consideration, except in the case of circumstances outside of one's control, with the agreement of the Executive Committee and on the advice of the Organizing Committee.

Asian University Sports Federation

Bldg.33-2 Ronghuiyuan, YuhuaRd., BlockB, Kongganggongyequ, Shunyi-district, Beijing, China
Tel : +86(10)66093756,66093764, Fax : +86(10)66093766,
E-mail : ausf@ausf.org; Website: http://www.ausf.org



**2026 Asian University Badminton Championship
Taipei, Chinese Taipei, 10th -14th June, 2026**

Quantitative Entry Form

Q

Revised on :

Country / Region:	Japan	Country / Region Code:	JPN
Name of the NUSF:	Japanese University Sports Board		

Please fill in this table a numerical estimation of participants.

Sport Event		Male	Female
Individual	Single	Maximum:2	Maximum:2
	Double	Maximum:2	Maximum:2
	Mixed Double	Maximum:2	Maximum:2
Mixed Team		Maximum:1	
Delegations		Male	Female
Competitors			
Head of Delegation			
Team Leader			
Coach			
Medical Personnel			
Other			
Total			

Each country/ region is authorized to enter a maximum of fifteen (15) persons, of whom twelve (12) may be competitors and three (3) officials.

Entry to be sent back no later than March 10th, 2026

Two (2) copies must be sent to the Organizing Committee.
Original must be sent to the AUSF General Secretariat.
Please keep a copy for your own records.

Next Entries: Individual Entry Form due 10th May, 2026

Name and signature of the President or the Secretary General of the NUSF

Name SUZUKI Daichi	Function Chair of JUSB
Signature	Date

Seal of NUSF

Asian University Sports Federation
Bldg.33-2 Ronghuiyuan, YuhuaRd., BlockB, Konggangongyequ, Shunyi-district, Beijing, China
Tel : +86(10)66093756,66093764, Fax : +86(10)66093766,
E-mail : ausf@ausf.org; Website: http://www.ausf.org



**2026 Asian University Badminton Championship
Taipei, Chinese Taipei, 10th -14th June, 2026**

**Individual Entry Form
(Competitors)**

Received on:

11

Country/Region : Country/Region Code

	Last Name	First Name	Photo
Roman Alphabet			
Date of Birth	<input type="text"/> Year	<input type="text"/> Month	<input type="text"/> Day
	Place of Birth		

Participant must be born from 1st January 1999 to 31st December 2008.

Passport Number	BWF World Ranking	Laterality	
Name of University	Year of Study		
Field of Study	Graduation Year		if graduated
Team Event	<input type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> NO	Individual Event	<input type="checkbox"/> Single <input type="checkbox"/> Double <input type="checkbox"/> Mixed Double

By participating or otherwise appearing in an AUSF event, each competitor, participant, official and each officer, agrees to be filmed, televised, photographed, identified and otherwise recorded, under the conditions and for the purposes authorised by AUSF either currently or in the future, and in relation to the promotion of the Sporting, Cultural, and the Educational activities organized under the aegis of AUSF or under its patronage. I declare that the above athlete is a bona fide member of the delegation participating in the 2026 Asian University badminton Championship, that he/she is covered by an insurance policy and that the information stated on this form is true to the best of my knowledge.

Entry to be sent back no later than 10th May, 2026
 One (1) Copy must be sent to the OC and AUSF Secretariat.
Original Copy must be brought to the Organizing Committee for the Accreditation.

Name and Signature of the President or Secretary General of the NUSF		Seal of NUSF
Name SUZUKI Daichi	Function CHair of JUSB	
Signature	Date	

For Official Use Only

Asian University Sports Federation
 Bldg.33-2 Ronghuiyuan, YuhuaRd., BlockB, Konggangongyequ, Shunyi district, Beijing, China
 Tel : +86(10)66093756,66093764, Fax : +86(10)66093766,
 E-mail : ausf@ausf.org; Website: http://www.ausf.org



**2026 Asian University Badminton Championship
Taipei, Chinese Taipei, 10th -24th June, 2026**

**Individual Entry Form
(Officials)**

Received on:

12

Country/Region : Country/Region Code

	Last Name	First Name			
Roman Alphabet					
Nationality		Sex			
Date of Birth	<small>Year</small>	<small>Month</small>	<small>Day</small>	Place of Birth	

Passport Number				
Address				
City	Zip Code	Country/Region		
Phone	Fax	Email		

Please check one of the following functions:

Head of Delegation A	Team Leader E	Physician I
Deputy Head of Delegation B	Team Official F	Medical Personnel J
Secretary C	Technician G	Media Liaison K
Delegation Official D	Coach H	Other L

By participating or otherwise appearing in an AUSF event, each competitor, participant, official and each officer, agrees to be filmed, televised, photographed, identified and otherwise recorded, under the conditions and for the purposes authorised by AUSF either currently or in the future, and in relation to the promotion of the Sporting, Cultural, and Educational activities organised under the aegis of AUSF or under its patronage.

I declare that the above athlete is a bona fide member of the delegation participating in the 2026 Asian University Badminton Championship, that he/she is covered by an insurance policy and that the information stated on this form is true to the best of my knowledge.

Entry to be sent back no later than 10th May, 2026

One (1) Copy must be sent to the OC and AUSF Secretariat.

Name and Signature of the President or Secretary General of the NUSF

Name SUZUKI Daichi	Function Chair of JUSB
Signature	Date

Seal of
NUSF

--	--	--	--	--	--

For Official Use Only

Asian University Sports Federation
Bldg.33-2 Ronghuiyuan, YuhuaRd., BlockB, Konggangongyequ, Shunyi district, Beijing, China
Tel : +86(10)66093756,66093764, Fax : +86(10)66093766,
E-mail : ausf@ausf.org; Website: http://www.ausf.org

2026

アジア大学バドミントン選手権大会

2026年6月10日～14日

台北(チャイニーズ・タイペイ)

2026 アジア大学バドミントン選手権大会

大会要項(Bulletin No.1)

暫定プログラム

日程・競技内容

6月8日

- 到着・認証
- 公式練習

6月9日

- 到着・認証
- 公式練習
- 第1回 技術代表者会議

6月10日

- 開会式
- 団体戦(開始)

6月11日

- 団体戦決勝
- 表彰式
- 第2回 技術代表者会議

6月12日～13日

- 個人戦

6月14日

- 個人戦決勝
- 表彰式
- 閉会式

6月15日

- 出発

一般規定

本大会は、最新の**世界バドミントン連盟(BWF)競技規則**に基づいて実施される。解釈に相違が生じた場合は、**英語版を正本**とする。

競技日程および大会期間は、AUSF(アジア大学スポーツ連盟)執行委員会が組織委員会と協議のうえ決定した。原則として大会期間は**5日間**とし、以下の種目を実施する。

競技種目

a. 個人戦

- 男子:シングルス、ダブルス
- 女子:シングルス、ダブルス
- 混合:混合ダブルス

b. 混合団体戦

- 男子
- 女子

- 8 チームによるトーナメント
-

エントリー規定

各国・地域は 1 チームの参加が認められ、

- 各男女 最大 6 名の選手
- 最大 3 名の役員
を登録できる。

a) 個人戦

- 男子シングルス: 3 名
- 女子シングルス: 3 名
- 男子ダブルス: 3 組
- 女子ダブルス: 3 組
- 混合ダブルス: 3 組

※選手は最大 2 種目まで出場可能(例:シングルス 1 種目 + ダブルス 1 種目、またはダブルス 2 種目)。

b) 混合団体戦

- 男子: 最少 2 名 / 最大 6 名
- 女子: 最少 2 名 / 最大 6 名
- チーム数: 1 チーム

※怪我防止のため、男子 3 名・女子 3 名以上の登録を推奨する。

試合方式

- 1 対戦(タイ)は最大 5 試合
- 予選リーグ: 全試合実施
- 決勝トーナメント: 勝敗決定時点で終了

各対戦は以下で構成される:

- 男子シングルス 1 試合
- 女子シングルス 1 試合
- 混合ダブルス 1 試合

※選手は、1 対戦につき**最大 2 試合**まで出場可能。

出場資格

すべての選手は以下の条件を満たすこと。

- a) 2026 年 1 月 1 日時点で **17 歳以上 28 歳未満**
(1998 年 1 月 1 日～2008 年 12 月 31 日生まれ)
 - b) 各国・地域の認可を受けた大学または同等の教育機関に在籍し、
学位またはディプロマ取得を目指して正式に登録されている学生
 - c) b) に該当する教育機関を **大会前年に卒業した者**
 - d) 代表する国・地域の**有効なパスポート**を所持していること
(留学生を除く)
 - e) 留学生は、**出身国・地域のパスポート**および**学生証**を所持すること
 - f) 留学生の参加は可能だが、**チーム登録人数の 20%以内**とする
-

参加費用

a. 登録費(AUSF 徴収)

- AUSF 加盟国・地域: 1 人 USD 10
- 非加盟国・地域: 1 人 USD 20

b. 参加費(組織委員会徴収)

- 1人1泊:USD 60
- 追加役員(extra-official):1人1泊 USD 150

※規定数を超えて登録された役員は「追加役員」とみなす。

※6月8日以前の到着、または6月15日以降の出発について、OCは責任を負わない。

エントリー締切

- 一般エントリー:2025年12月10日
- 人数エントリー:2025年12月10日
- 参加費デポジット(50%):2026年3月10日
- ITO 推薦エントリー:2026年3月10日
- 残額(50%):2026年5月10日
- 個人エントリー／資格・渡航情報:2026年5月10日

※パスポートは帰国日から6か月以上有効であること。

※認証のため、パスポート、個人エントリー原本、学籍証明書を必ず持参すること。

保険

本大会の開催に起因する**損害・負傷・事故**について、AUSF および OC は責任を負わない。

すべての参加国・地域は、**渡航および大会参加を補償する保険**に加入すること。

ドーピング管理

最新の AUSF アンチ・ドーピング規則に基づき実施する。

治療目的使用(TUE)が必要な場合は、証明書を取得し、到着時に直ちに OC へ申告すること。

選手は、ドーピング検査時にチーム役員の同伴が認められる場合がある。

宿泊・輸送

OC は、国際基準を満たす指定ホテルを手配し、選手・役員・AUSF 関係者および審判員を収容する。

ホテル詳細は確定次第通知する。

また、公式入国地点と指定ホテル間の輸送は OC が手配する。

AUSF ヘルププログラム

本プログラムは、一人当たり GDP 3,500 米ドル以下の国・地域（世界銀行最新データ）を対象に、

学生選手および役員派遣のための財政支援を行うものである。

詳細規定は別添資料を参照のこと。

2026 年大会に関する主な期限

- 申請書提出:2025 年 12 月 22 日まで
 - 審査期間:2025 年 12 月 22 日～2026 年 1 月 22 日
 - 採択 NUSF は、選手個人情報一式を 2026 年 3 月 10 日まで提出
 - 大会後 1 か月以内に報告書提出
 - 最終報告書受領後、AUSF より承認額を精算
 - 申請送付先 : ausf@ausf.org
-

公式入国空港

- 桃園国際空港 (TPE)
 - 松山国際空港 (TSA)
-

ビザ

ビザ支援が必要な代表団は、大会 3 か月前までに OC へ連絡すること。

招聘状が必要な場合も、OC へ問い合わせること。

銀行情報

受取人名 : Chinese Taipei University Sports Federation

銀行名 : Taiwan Cooperative Bank, Taipei Branch

銀行住所 : No.55, Fu-Hsing N. Road, Taipei 105, Taiwan

口座番号 : 0540-717-155895

SWIFT : TACBTWTP054

Telex : 17176, 23749, TACBID

TEL : +886-2-2772-4277

FAX : +886-2-2751-8019

連絡先

2026 アジア大学バドミントン選手権大会 組織委員会

Chinese Taipei University Sports Federation

住所 : 13F, No.20, Zhulun Street, Taipei 10489, Taiwan

TEL : +886-2-771-0300

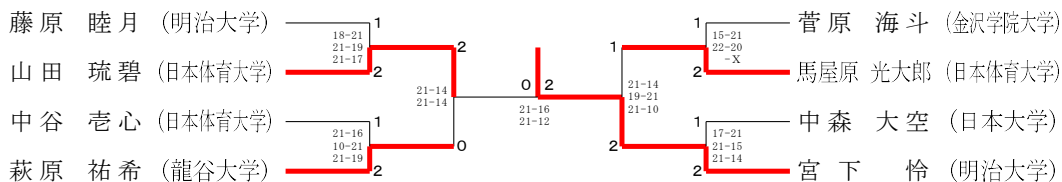
FAX : +886-2-771-0305

Email : ctusf61@mail.ctusf.org.tw

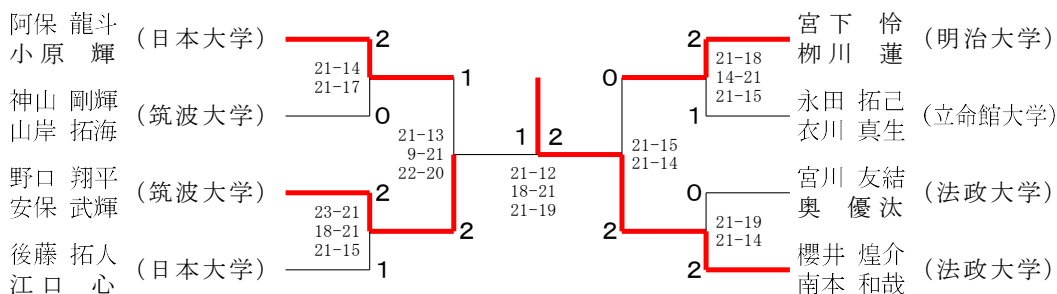
令和7年度 文部科学大臣杯争奪第76回全日本学生バドミントン選手権大会

令和7年10月11日-16日 群馬県

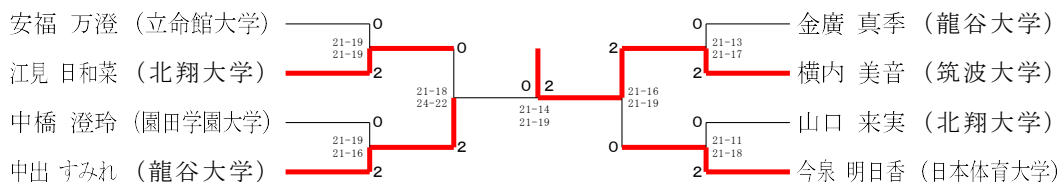
男子シングルス



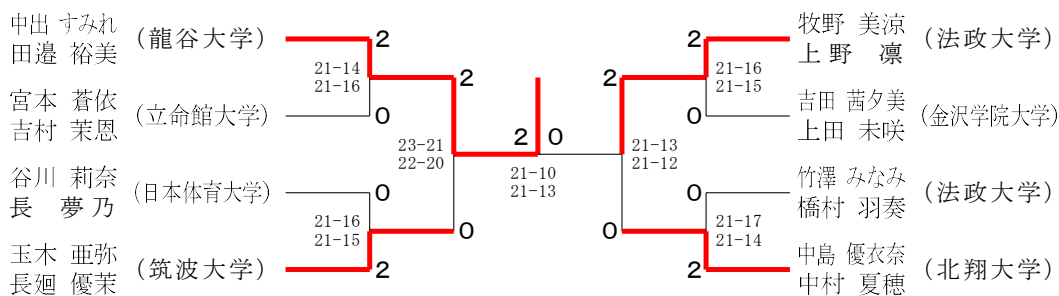
男子ダブルス



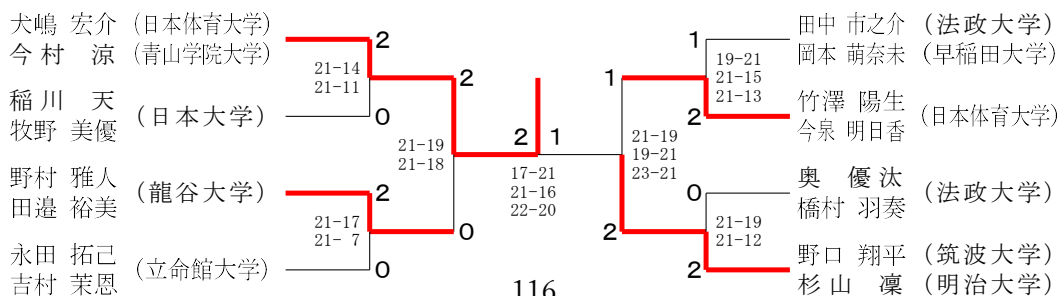
女子シングルス



女子ダブルス



混合ダブルス



2026 年 1 月 26 日

一般社団法人全日本学生バドミントン連盟
役員・委員各位

2026 年度全日本学連 学生役員推薦書

このたび、2026 年度の全日本学連委員長、副委員長 2 名、会計を、推薦いたします。

○委員長

富野 航輝（立命館大学 4 年 関西学連学生委員・関西学連副委員長予定）

推薦理由：

令和 7 年度において全日本学連副委員長を務めるとともに、関西学連では大学 1 年次より継続して委員として活動しており、長年にわたり学生連盟の中核として組織運営に携わってきました。

関西学連主催大会や全日本インカレをはじめとする数多くの大会運営に従事し、主管委員長不在という困難な状況においても、全体を俯瞰しながら自ら率先して行動し、現場を円滑に動かす姿は多くの役員・委員から高く評価されています。その責任感の強さと実行力により、周囲から厚い信頼を寄せられる存在となっています。

特に全日本競技部の業務においては、常に先を見据えて主体的に業務に取り組み、大会運営の円滑化だけでなく、連盟活動全体の質の向上にも大きく貢献してきました。業務量の多さや難度の高さに関わらず、決して妥協することなく、細部にまで配慮した姿勢は、まさに学連役員の模範と言えるものです。

また、全日本インカレでは他地区学連役員との連携を積極的に図り、地区の垣根を越えた協力体制の構築に尽力しました。その高い調整力と対人能力により、複雑な運営体制の中でも円滑なコミュニケーションを実現し、大会成功に大きく寄与しています。加えて、後輩委員の育成にも力を注ぎ、業務の丁寧な引き継ぎや助言を通して、次世代の学連役員の成長を支えてきました。

さらに一年を通して全日本委員長の業務を最も近くで支え、その姿勢や判断、運営手法を学びながら、自身の役割を常に考え、組織全体にとって最善となる行動を取り続けてきました。組織への深い理解力、優れた実務能力、そして何よりも学連活動に対する強い責任感と情熱を兼ね備えた人物であり、学生スポーツ界の発展に大きく寄与する存在であると確信

しております。

以上の理由から、期待を込めて全日本学連委員長に推薦いたします。

○副委員長

小野寺 陸（東日本国際大学 4 年 東北学連学生委員）

推薦理由：

令和 6 年度より東北学連委員長として東北学連の運営を統括し、組織の中核として多方面にわたり精力的に活動してきました。東北学連主催大会ならびに東日本インカレの運営に深く携わり、競技運営の円滑化はもとより、学連全体の活性化と運営体制の強化に大きく貢献しています。常に全体を見渡しながら冷静かつ的確に判断し、状況に応じて最善の行動を取る姿勢は、多くの役員・委員から高く評価されています。

人望に厚く、誰からも信頼される存在であると同時に、いざという場面では組織を力強く牽引する頼もしさを兼ね備えています。令和 6 年度北海道開催の東日本インカレにおいては、北海道委員長不在という困難な状況の中、関東委員長と連携しながら主体的に現場を統率し、周囲の役員や学生に積極的に指示を出すことで、大会運営を成功へと導きました。その際に見せた高い統率力、調整力、そして責任感の特筆すべきものです。

また、全日本インカレでは他地区学連役員との連携に尽力し、地区の枠を越えた協力体制の構築に貢献してきました。円滑なコミュニケーション能力と柔軟な対応力により、複雑な運営環境においても信頼関係を築き、大会成功の基盤を支えています。さらに、後輩役員の育成にも積極的に取り組み、業務指導や助言を通して次世代の学連運営を担う人材の成長を力強く支えてきました。

これまでに培ってきた豊富な運営経験と広い視野を踏まえ、今後は全日本学連においても、より一層中心的な役割を果たすとともに、次年度以降の委員育成を並行して行い、組織の持続的な発展に大きく寄与できる人物であると確信しております。誠実さ、行動力、指導力、そして学連活動に対する強い情熱を兼ね備えているため、期待を込めて全日本学連副委員長に推薦いたします。

○副委員長

有田 媛香（愛媛大学 4 年 中四国学連学生委員予定）

推薦理由：

大学 2 年次より中四国学連の委員として活動を始め、中四国学連主催大会および西日本インカレの運営に携わりながら、長年にわたり学連活動の発展に大きく貢献してきました。常に自ら率先して行動し、業務を探して動く主体性と責任感は一貫しており、その姿勢は多くの委員の模範となっています。与えられた役割にとどまらず、「より良い運営のために何ができるか」を考え続ける姿勢は、学連にとって欠かすことのできない存在です。

全日本学連においては、広報部員として 1 年間活動し、業務への対応の速さ、正確さ、継続力はいずれも非常に高く、周囲が感嘆するほどの実務能力を発揮してきました。連絡対応、作業対応において一切の滞りがなく、組織運営の基盤を支える重要な役割を担っていました。その確実な仕事ぶりは、役員・委員から厚い信頼を集めています。

今年度の全日本インカレにおいては、他地区の役員・委員と積極的に関わり、初対面の相手ともすぐに信頼関係を築き、場の雰囲気や和ませる存在として大会運営を円滑にしました。話しかけやすさ、相談のしやすさ、そして仕事を安心して任せられる信頼感を兼ね備えており、組織の潤滑油として非常に大きな役割を果たしていました。

さらに、高い行動力と企画力を備えており、現状に満足することなく、改善案や新たな取り組みを積極的に提案できる点も特筆すべき強みです。課題を前向きに捉え、周囲を巻き込みながら形にしていこうとする姿勢は、将来の学連運営を担う人材として極めて高く評価できます。

以上の実績と人物面を踏まえ、同氏は全日本学連副委員長として、組織運営の中核を担いながら、委員一人ひとりが力を発揮できる環境づくりに大きく貢献できる人物であると確信しております。学連活動への深い理解、確かな実務能力、優れた対人力、そして強い向上心を兼ね備えた同氏が、来年度以降さらに飛躍し、全日本学連の発展を力強く牽引してくれることを大いに期待し、全日本学連副委員長に推薦いたします。

○会計

富田 妃奈乃（日本体育大学 3 年 関東学連学生委員・関東学連会計予定）

推薦理由：

令和 7 年度は関東学連役員として関東学連の運営に携わり、会計部として活動している。周囲とのコミュニケーション能力に優れており、常に相手の立場を考えながら行動できる。

また、任された仕事には最後まで責任を持って取り組み、丁寧かつ真剣に対応している為、学連として求められる協調性と主体性を兼ね備えており、安心して業務を任せられる存在だと感じている。

さらには、令和 8 年度は全日の会計として大会毎の役員活動費の管理や連盟登録の管理など全日本学連の活動に大きく貢献してもらえと思ったため推薦する。

一般社団法人全日本学生バドミントン連盟 7 地区学生役員
7 地区学連委員長